

Windows10 ユーザーガイド

- Windows の操作方法について
困ったときにお読みください

CONTENTS

CHAPTER 1 Windows 10 の基本操作 3

1 ● Windows の終了方法	4
2 ● タスクバー設定	5
3 ● Microsoft Store	7
4 ● 電源とスリープの設定	9
5 ● アプリケーションの実行	10
6 ● アプリの検索	11
7 ● Windows の設定を開く	12
8 ● アクションセンターを開く	13
9 ● Windows セキュリティを開く	14
10 ● Microsoft OneDrive を使用する	15
11 ● 新機能の紹介	16

CHAPTER 2 日本語の入力 25

1 ● ワードパッドの起動	26
2 ● IME について	28
3 ● 日本語の入力	30
4 ● 文書をファイルに保存	35
5 ● 保存した文書を開く	37

CHAPTER 3 ファイルとフォルダーの操作 40

1 ● フォルダー内の参照	41
2 ● ファイルやフォルダーの一覧形式	43
3 ● ファイルやフォルダーの作成	45
4 ● ファイルやフォルダーの選択	47
5 ● ファイルやフォルダーの削除	49
6 ● ファイルやフォルダーの検索	51
7 ● ファイルやフォルダーの圧縮と解凍	52

CHAPTER 4	インターネットとメール	54
1 ●	Webページを閲覧する	55
2 ●	特定のWebページをスタート画面にピン留めする	57
3 ●	お気に入りへの追加/表示/削除	59
4 ●	メールの起動と初期設定	63
5 ●	メール本文の作成	67
CHAPTER 5	Windows の各種設定	69
1 ●	画面の解像度を変更する	70
2 ●	デスクトップの背景を設定する	72
3 ●	日付と時刻を設定する	74
4 ●	ユーザーアカウント(家族のアカウントを追加する)	76
5 ●	ローカルアカウントをMicrosoftアカウントに切り替える	85
6 ●	Microsoftアカウントをローカルアカウントに切り替える	89
7 ●	マルチディスプレイ設定方法	92
CHAPTER 6	回復ドライブ	94
1 ●	回復ドライブの作成	95
2 ●	回復ドライブからの復元	99
CHAPTER 7	ショートカットキー	103
1 ●	ショートカット一覧	104

Windows10 の 基本操作

本章では、Windows10の基本操作について説明します。

1 ● Windowsの終了方法	4
2 ● タスクバー設定	5
3 ● Microsoft Store.....	7
4 ● 電源とスリープの設定	9
5 ● アプリケーションの実行	10
6 ● アプリの検索	11
7 ● Windowsの設定を開く	12
8 ● アクションセンターを開く	13
9 ● Windows セキュリティを開く	14
10 ● Microsoft OneDriveを使用する	15
11 ● 新機能の紹介	16

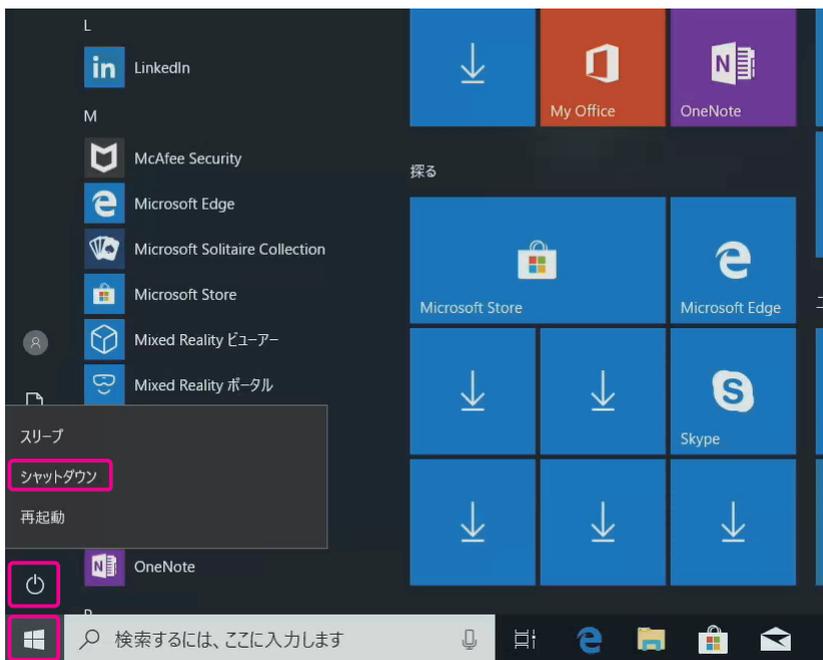
1

Windows の終了方法

終了方法

Windows 上での作業を完了し、終了する方法を説明します。

1. 「」→「」の順にクリックして一覧から「シャットダウン」をクリックします。



2

タスクバー設定

タスクバー

タスクバーは、アプリの起動状態を示す場所になります。



1 検索枠

PC 内のファイルや、Web 上にある情報を検索します。

2 タスクビュー

起動中のアプリを、表示内容を含めて一覧表示し、任意のアプリを手前に表示させたり、終了させることができます。

3 Microsoft Edge

Windows10 から搭載された新しいブラウザです。

4 エクスプローラー

PC 内や、接続した記憶機器の内容を表示します。

5 Microsoft Store

様々なアプリを購入・ダウンロードできます。

6 メール

メールアプリを起動します。

7 未表示ライン

上記以外のアプリを起動した際に、アプリのアイコンが表示されます。

注意

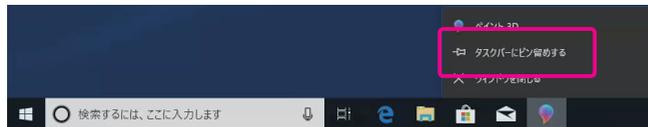
Web 上の検索や、Microsoft Edge・Microsoft Store を利用するには、インターネットの接続が必要になります。

タスクバーにアプリのアイコンをピン留めする / 外す

使用頻度の高いアプリのアイコンを、タスクバーにピン留めして固定することで、ショートカットのように使用することができます。

●ピン留めする

ピン留めしたいアプリを起動した状態で、タスクバー上のアプリのアイコンを右クリックし、「タスクバーにピン留めする」をクリックします。



初期からピン留めされたアプリや、ピン留めした使用頻度の低いアプリのピン留めを外すことで、タスクバーからアイコンを消すことができます。

●ピン留めを外す

ピン留めを外したいアプリの、タスクバー上のアイコンを右クリックし、「タスクバーからピン留めを外す」をクリックします。

ワンポイント

アイコンを非表示にする操作であり、アプリはアンインストールされません。

3

Microsoft Store

Microsoft Store を利用することで、様々なアプリを使用することができます。

起動方法

タスクバーにある「Microsoft Store」アイコンをクリックします。



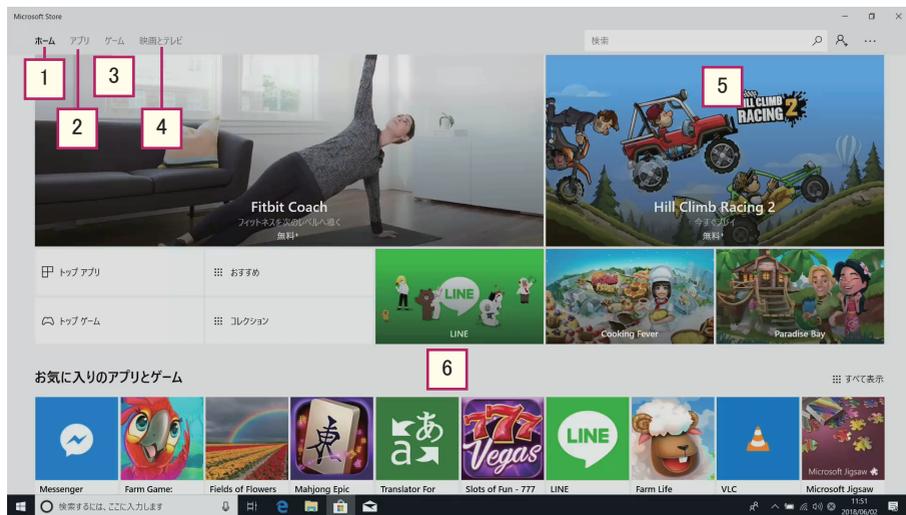
注意

Microsoft Store を利用するには、インターネット回線が必要です。

注意

Microsoft Store アプリには有料コンテンツが含まれており、購入には Windows プリペイドカードまたはクレジットカードが必要です。

画面説明



- 1 ホーム
ホーム（トップ画面）に戻ります。
- 2 アプリ
「ゲーム」「映画とテレビ」カテゴリ以外のアプリを閲覧できます。
- 3 ゲーム
ゲームアプリを閲覧できます。
- 4 映画とテレビ
映画やテレビ番組を閲覧できます。
- 5 検索枠
アプリの名前を検索します。
- 6 アプリ一覧
高評価のアプリや、新着アプリが表示されます。

ワンポイント

表示される画面は、都度変わります。

4

電源とスリープの設定

「電源とスリープ」ではディスプレイの電源を切るまでの時間とスリープ状態にするまでの時間を設定します。

表示方法



1. 「Windows の設定」→「システム」→「電源とスリープ」の順にクリックします。

ワンポイント

Windows の設定については 12 ページをご参照ください。

2. ディスプレイの時間を切るまでの時間とスリープ状態にするまでの時間をメニューから選択します。

ワンポイント

バッテリー搭載モデルではバッテリー駆動時と電源に接続時の設定を行います。

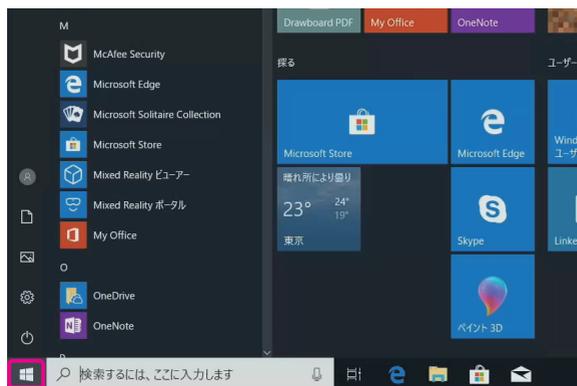
5

アプリケーションの実行

PC にインストールされているアプリケーションを検索し実行します。

アプリケーションの実行の手順

1. デスクトップ画面左下の「」をクリックします。



ワンポイント

並び順は上から
「数字」
「英字」
「ひらがな / カタカナ / 漢字」
で表示されます。

2. アプリの一覧が表示されます。

3. マウスカーソルを表示エリア内に入れると、スクロールバーが表示されます。

4. 実行したいアプリケーションをクリックすることで、アプリケーションを実行します。

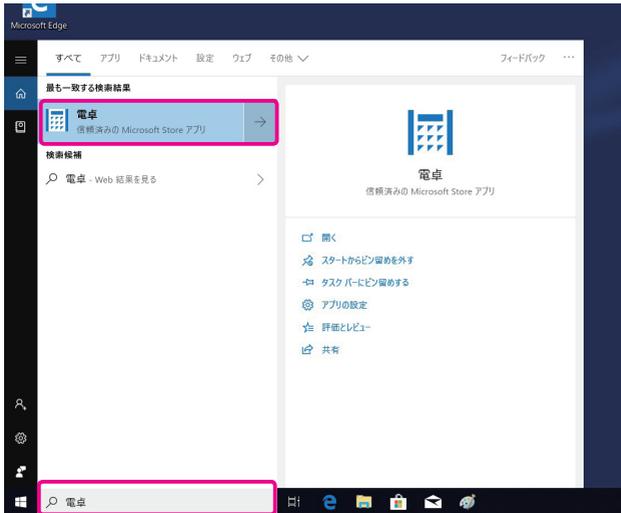
6

アプリの検索

アプリを検索して起動させることができます。

アプリ検索の手順

1. 画面左下の検索枠をクリックします。



ワンポイント

日本語の入力方法については25ページをご参照ください。

2. 検索枠に検索ワードを入力します。ここでは「電卓」と入力してみましょう。

3. 目的のアプリが検索できました。

ワンポイント

入力した文字に対して、前方一致で検索されます。
部分一致には対応していません。

ワンポイント

検索可能な文字列であれば、ローマ字で入力しても「ひらがな/カタカナ」や「漢字」の名前のアプリも検索できます。

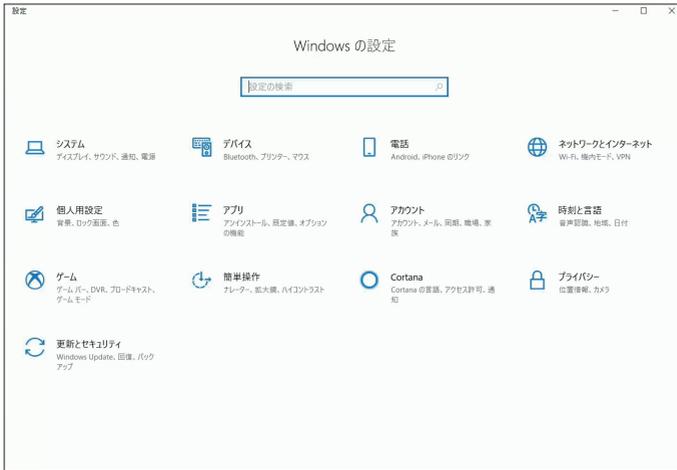
<例> 「dentaku」 → 「電卓」

7

Windows の設定を開く

Windows の画面から PC やデバイス、ネットワーク、そのほか Windows の設定に関する変更を行うことができます。

Windows の設定を開く



1. 「」 → 「」の順にクリックします。



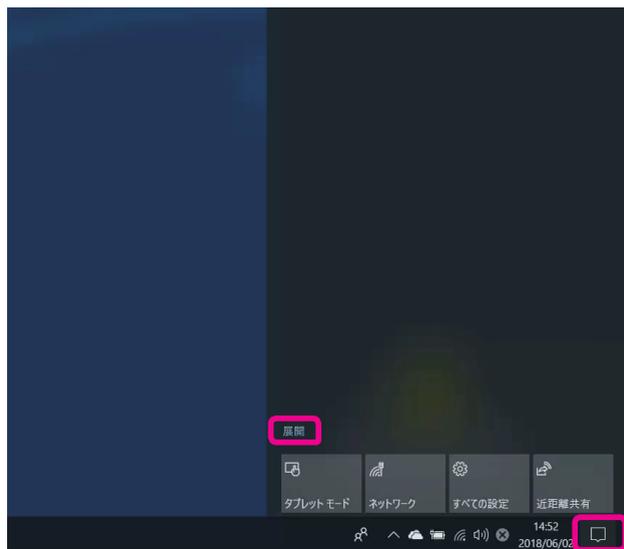
8

アクションセンターを開く

アクションセンターから通知の確認や、各設定項目をオン、オフできます。

アクションセンターを開く

1.「通知」をクリックする。「展開」をクリックするとより多くの項目を表示できます。

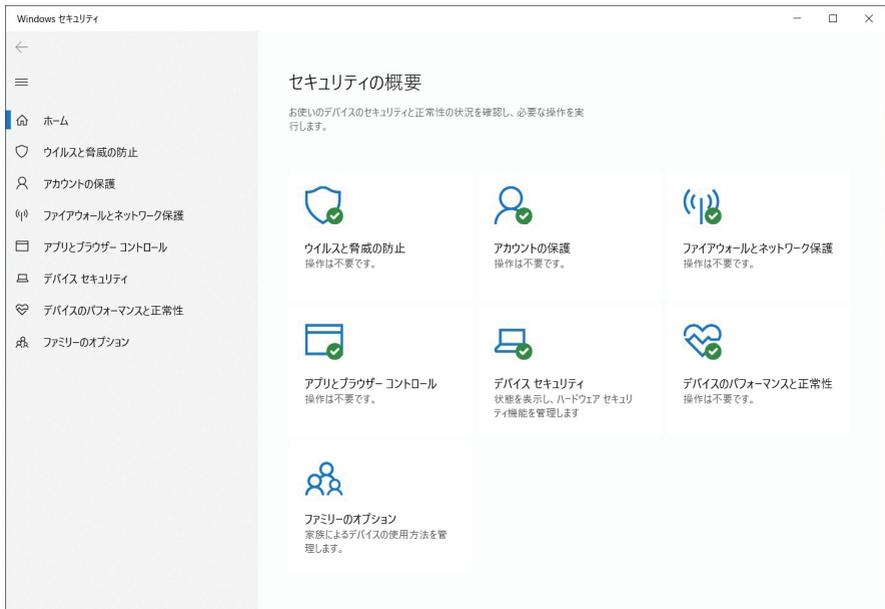


9

Windows セキュリティを開く

Windows セキュリティは、デバイスのセキュリティと正常性を表示し、管理するためのホーム画面です。

Windows セキュリティを開く



1. 「Windows の設定」から「更新とセキュリティ」→「Windows セキュリティ」→「Windows セキュリティを開く」の順にクリックします。
Windows の設定については 12 ページをご参照ください。

ワンポイント

セキュリティの状況を確認して問題があれば必要な操作を行ってください。

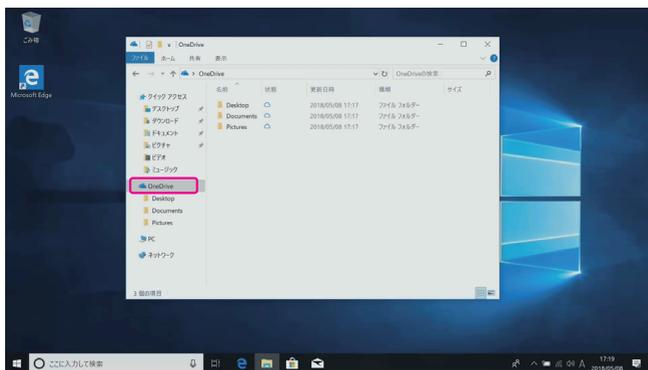
10

Microsoft OneDrive を使用する。

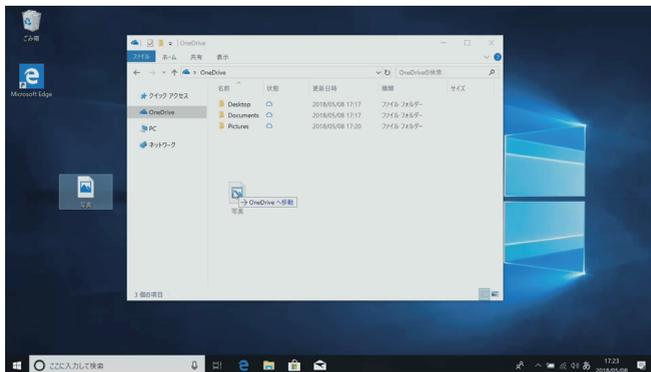
OneDrive とは Microsoft 社が提供しているオンラインストレージです。同じ Microsoft アカウントでサインインすることで別の PC からでもファイルを共有することができます。

ファイルを OneDrive に保存する。

1. エクスプローラーを開く OneDrive をクリックする。



2. ファイルをドラッグアンドドロップする。



ワンポイント

「状態」の項目に表示されているアイコンは以下のステータスになります。

-  クラウド上だけにデータがある状態
-  ローカルで使用できる状態
-  常に使用できる状態

11

新機能の紹介

Windows10 に新しく加わった機能を紹介します。

スタートメニュー

スタートメニューから以下の項目を直接開くことができます。



- 1 アカウント
アカウント設定の変更、ロック、サインアウトが行えます。
- 2 ドキュメント
ドキュメントフォルダを開きます。
- 3 ピクチャ
ピクチャフォルダを開きます。
- 4 設定
Windows の設定画面を開きます。

ワンポイント

Windows の設定については 12 ページをご参照ください。

タイムライン

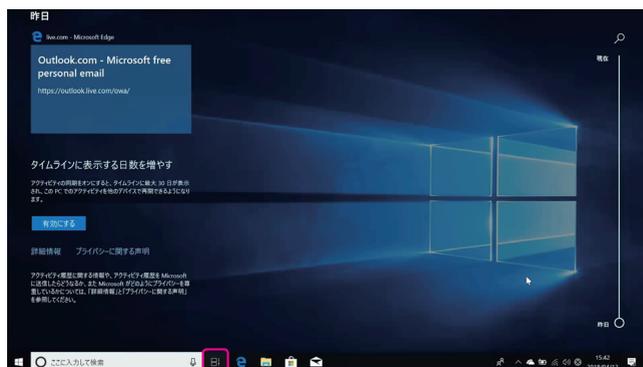
タイムラインではPC、他の Windows PC、iOS、Android デバイスでの過去のアクティビティを再開することができます。

タイムラインはタスクビューを強化し、現在実行中のアプリと過去のアクティビティを切り替えることができます。

ワンポイント

デフォルトでは、タイムラインに3〜4日間のアクティビティが表示されます。

1. タイムラインを表示するには「タスクビューアイコン」をクリックします。



セットアップを完了すると表示される期間を変更したり他のデバイスと同期することができます。

ワンポイント

MS アカウントでサインインする必要があります。

対応しているアプリケーションでのみアクティビティの同期ができます。

アクティビティの履歴を設定する。



「Windows の設定」→「プライバシー」→「アクティビティの履歴」の順にクリックします。

「このデバイスでのアクティビティの履歴を保存する」をオンにすると、数日間の間のアクティビティをタイムラインで確認し、その作業を再開できます。

「アクティビティの履歴を Microsoft に送信する」をオンにすると、別のデバイスで作業を再開することもできます。

Microsoft アカウントを使用している場合は、クラウドで同期された履歴を管理できます。「Microsoft アカウントのアクティビティデータを管理する」をクリックしてプライバシーダッシュボードにサインインした後に、「アクティビティの履歴」をクリックして、管理するデータを選んでください。

スマートフォンと PC をリンクする。

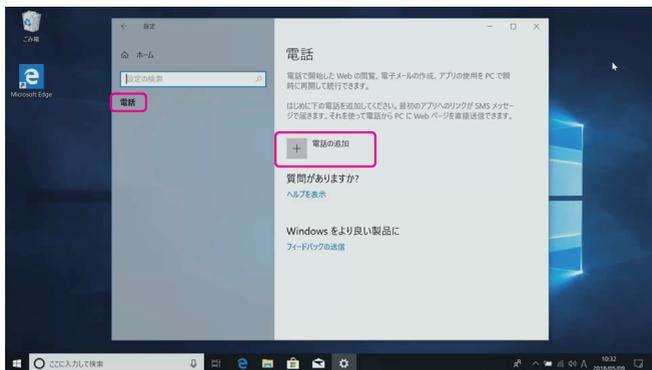
スマートフォンを PC にリンクすると、それぞれのデバイスで始めた作業を、別のデバイスで続行できます。

ワンポイント

Microsoft アカウントでサインインする必要があります。

対応しているアプリケーションでのみアクティビティの同期ができます。

1. PlayStore または App Store からアプリケーションを検索してインストールします。
Android は「Microsoft Launcher」、iOS は「Continue on PC」をインストールしてください。
または、スマートフォンへダウンロード先のリンクを送信することもできます。
電話番号を入力してメッセージを送信します。
「Windows の設定」→「電話」→「電話の追加」の順にクリックします。



2. スマートフォンの電話番号を入力して「送信」をクリックします。



3. 受信したテキストメッセージのリンクからアプリケーションをダウンロードします。
4. インストールしてアプリケーションで MS アカウントにサインインします。

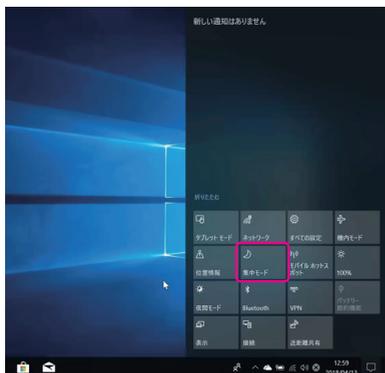
集中モード

集中モードをオンにするとアラーム以外の通知をお知らせするか設定できます。通知されなかった通知はアクションセンターに表示されます。

ワンポイント

デフォルトではゲームをプレイしているときとディスプレイを複製しているときにオンになります。

1. アクションセンターを開き、「集中モード」をオンにします。



2. 時間帯を指定して集中モードをオンにする。





「Windows の設定」→「システム」→「集中モード」の順にクリックします。時間帯を指定して集中モードをオンにするには、「次の時間帯」をオンにします。「次の時間帯」をクリックして「開始時刻」と「終了時刻」を設定します。

Microsoft Edge

Microsoft Edge にてタブごとにミュートが利用できるようになりました。音声再生されるページを複数開いている場合などにタブから個別にミュートにすることができます。

1. ミュートにしたいタブのスピーカーアイコンをクリックします。



近距離共有を使用する。

近距離共有では、Bluetooth または Wi-Fi を使用して、近くにいる他のユーザーとの間でコンテンツを送受信できます。

この機能を使用するには、共有元と共有先の両方の PC が Bluetooth を搭載していて Windows10(Version1803) 以降を実行している必要があります。

1. 近距離共有を有効にする。

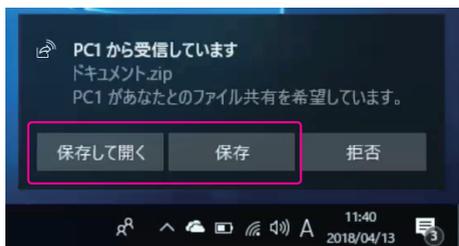
「アクションセンター」から「近距離共有」をクリックしてオンにします。



2. ファイルを共有する。

共有したいファイルを右クリックして「共有」をクリックします。共有先の PC 名を選択します。

共有先の PC で、通知が表示されたら保存して開くまたは保存を選択します。



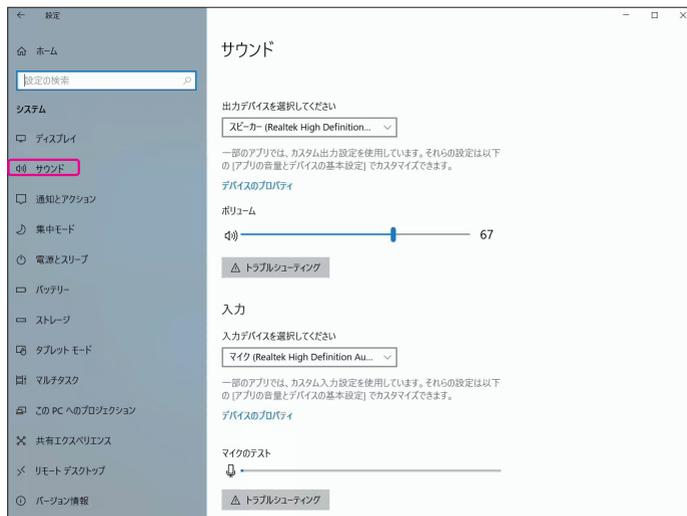
ワンポイント

ファイルは「ダウンロードフォルダ」に保存されます。

設定

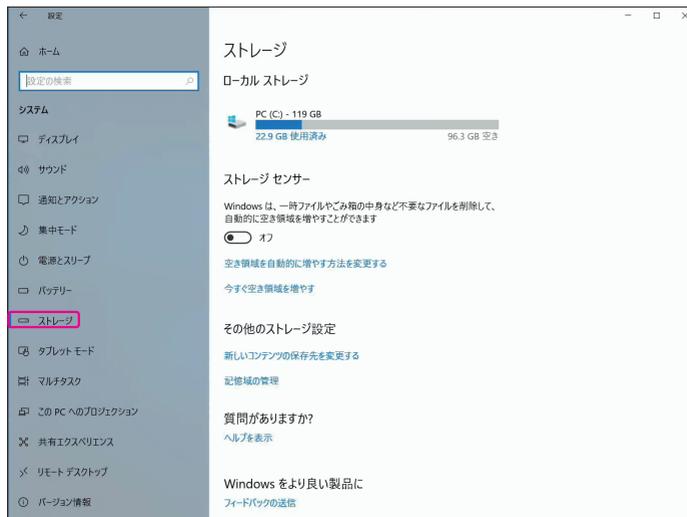
Windows の設定に追加された機能を紹介します。

サウンド



入出力デバイスの音量を変更します。
「システム」→「サウンド」の順にクリックします。

ストレージ



不要なファイルの削除やコンテンツの保存先を変更します。
「システム」→「ストレージ」の順にクリックします。

クイックペアリング



オンにすると、クイックペアリングに対応している Bluetooth デバイスが近くにある場合は、素早く接続できます。

「デバイス」「Bluetooth とその他のデバイス」の順にクリックします。

データ使用状況



ネットワークのデータ使用料を確認します。

「ネットワークとインターネット」→「データ使用状況」の順にクリックします。

日本語の入力

本章では、ワードパッドを使った日本語入力、および文書ファイルの保存について説明します。

- | | |
|----------------------|----|
| 1 ● ワードパッドの起動 | 26 |
| 2 ● IME について | 28 |
| 3 ● 日本語の入力 | 30 |
| 4 ● 文書をファイルに保存 | 35 |
| 5 ● 保存した文書を開く | 37 |

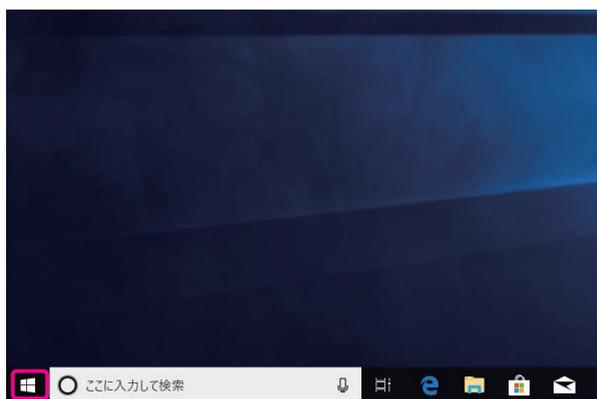
1

ワードパッドの起動

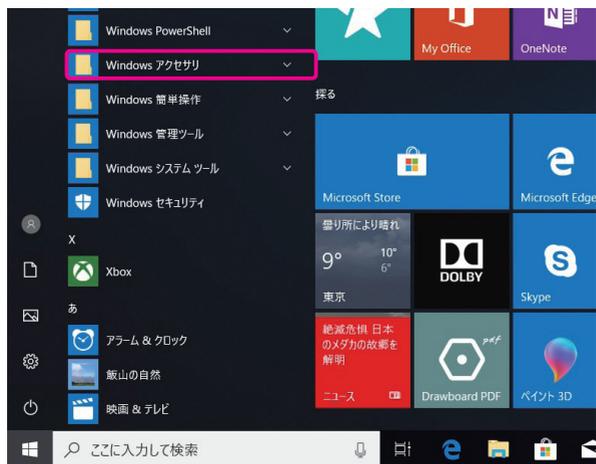
ワードパッドはWindows 標準搭載のワープロソフトです。ワードパッドを起動して文章を作成します。

起動方法

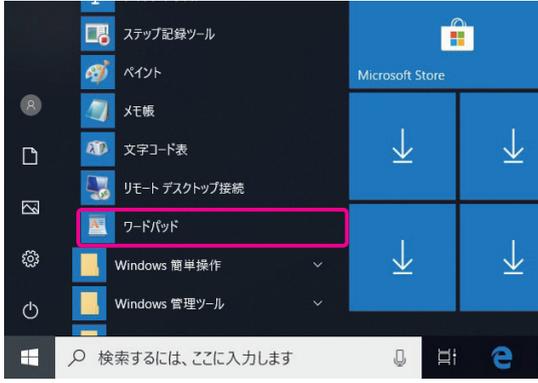
1. デスクトップ画面左下の「」をクリックします。



2. 「Windows アクセサリ」をクリックします。

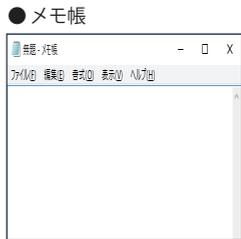


3. 「ワードパッド」 をクリックします。

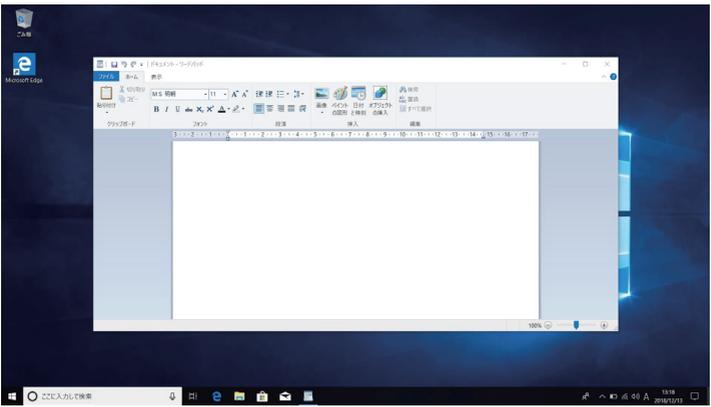


ワンポイント

Windows10 の Windows アクセサリには、「ワードパッド」の他にも、テキストエディタの「メモ帳」など、いくつかのアクセサリが付属しています。



4. ワードパッドが起動します。



2

IME について

IME とは、日本語入力を制御するためのソフトになります。IME について説明します。

IME の有効

Windows10 では、IME が無効の状態では起動します。半角英数字が入力できるように、画面右下に「A」と表示されています。



IME 有効・無効 (半角 / 全角) の切り替えは、文字の上でクリックします。



ワンポイント

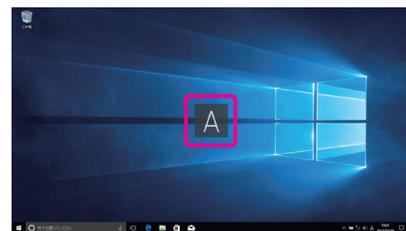
IME 有効・無効の切り替えは、「半角 / 全角」キーを押すことでも切り替えることができます。

切り替えに伴い、画面上に表示されます。



ワンポイント

「あ」にすることで、日本語が入力できるようになります。



文字の上で右クリックすることで、入力方法を選択するメニューや、IME 関連の設定などを行うことができます。

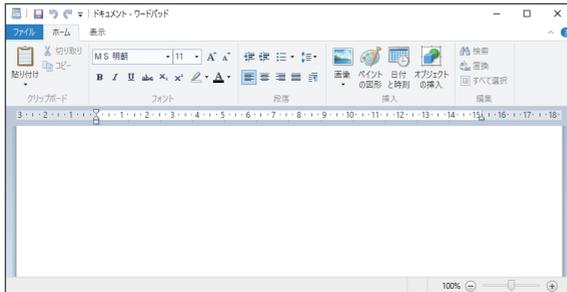


日本語の入力

IME が有効になっていることを確認します。ワードパッドに日本語を入力して、文書を作成します。

文字の入力と変換

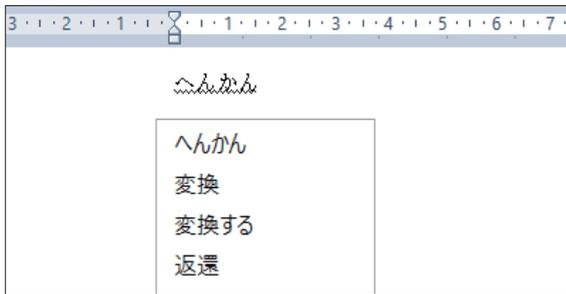
1. ワードパッドに文字を入力します。例として「変換」と入力します。



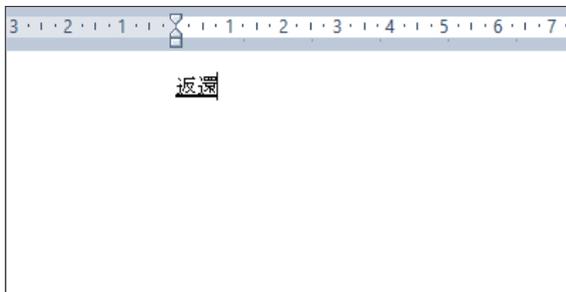
ワンポイント

日本語の入力には、ローマ字入力と、かな入力があります。ローマ字入力の場合には、英字キーを使って、ローマ字読みを入力します。切り替え方法については、34ページをご参照ください。

2. キーボードから「HENKAN」と入力します。



3. スペースキーを押します。最初の変換候補に変換されます。



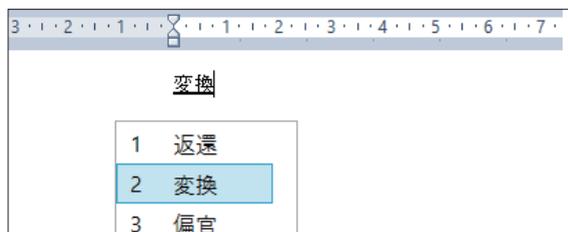
ワンポイント

スペースキーを押さずに、カーソルキーの「↓」を押すと、2. で表示されている候補から選択できます。

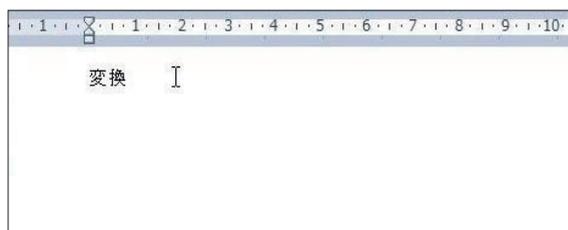
ワンポイント

変換キーでも同様の操作になります。

4. スペースキーを押して、変換候補を選択します。

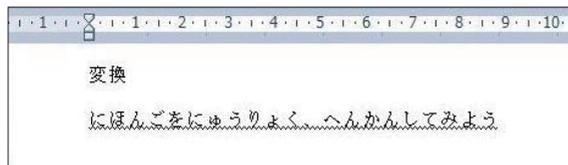


5. 「Enter」キーを押して、入力を確定します。

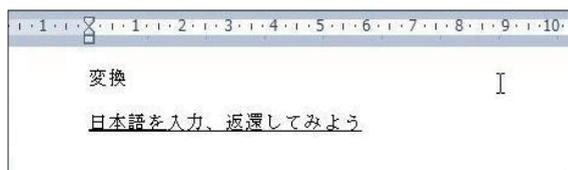


少し長めの文の入力

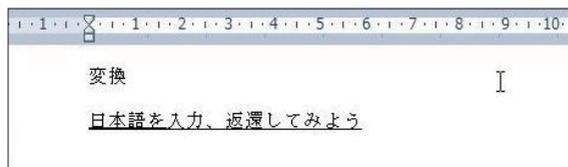
1. 例として「日本語を入力、変換してみよう」と入力します。



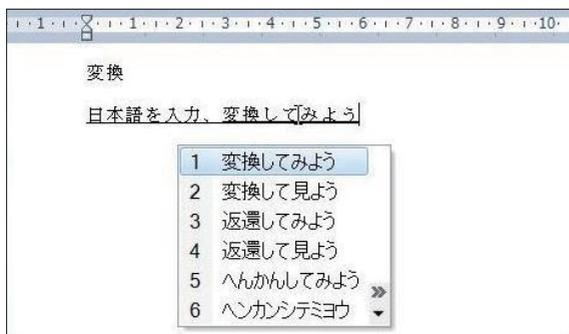
2. スペースキーを押します。読みがなが漢字変換されます。



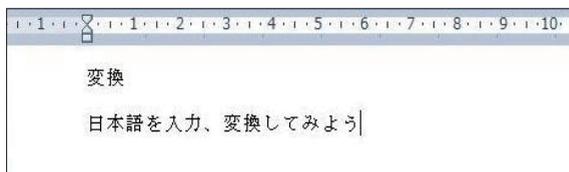
3. 「→」キーを押します。「返還してみよう」を選択します。



4. スペースキーを押します。選択した文節が、次の候補に変換されます。

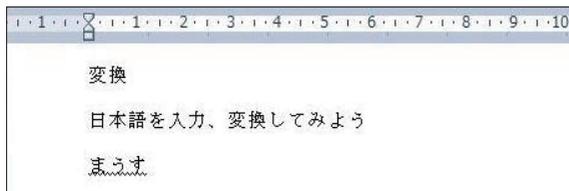


5. 「Enter」キーを押して、文全体の変換を確定します。

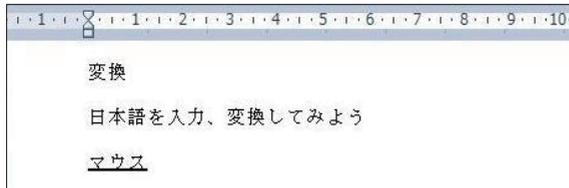


カタカナや英字の入力

1. キーボードから「mausu」と入力します。



2. 「F7」キーを押します。全角カタカナに変換されます。

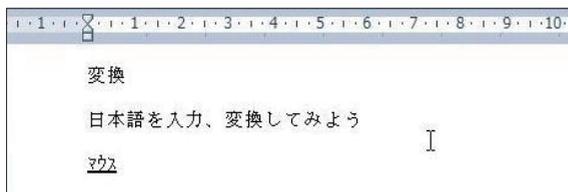


ワンポイント

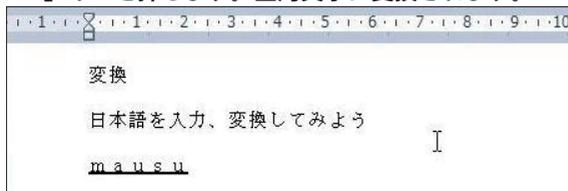
スペースキーでの変換以外にも、ファンクションキー「F6」～「F10」を使った変換が可能です。各ファンクションキーについては、以下の通りです。

- 「F6」キー
 - ・ひらがなに変換
- 「F7」キー
 - ・全角カタカナに変換
- 「F8」キー
 - ・半角カタカナに変換
- 「F9」キー
 - ・全角英字に変換
- 「F10」キー
 - ・半角英字に変換

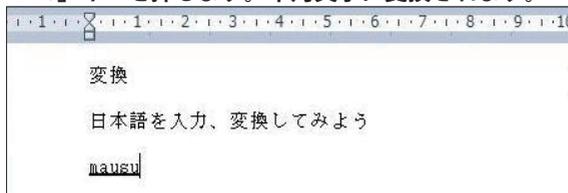
3. 「F8」キーを押します。半角カタカナに変換されます。



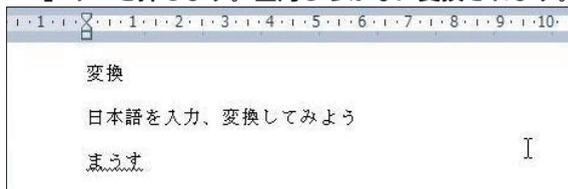
4. 「F9」キーを押します。全角英字に変換されます。



5. 「F10」キーを押します。半角英字に変換されます。



6. 「F6」キーを押します。全角ひらがなに変換されます。



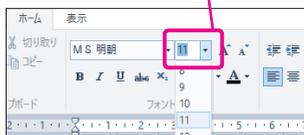
テクニック

フォントの変更を行うには、画面上部のフォント名の横にあるボタンをクリックして選択します。

フォント変更



フォントサイズ変更



「ローマ字入力」と「かな入力」の切り替え

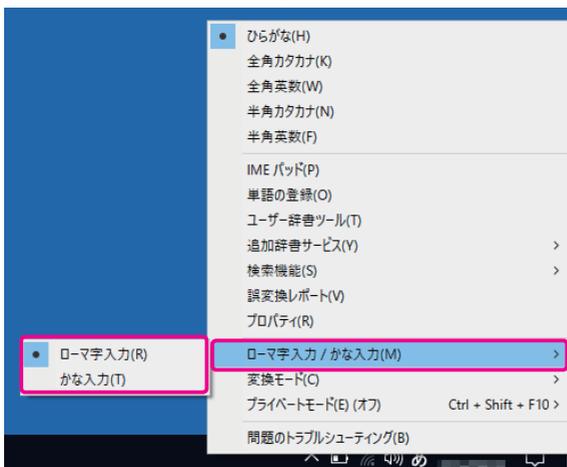
日本語の入力には、ローマ字入力とかな入力があります。ローマ字入力で「あ」と入力したのに、「ち」と表示されてしまった場合、かな入りに設定されている可能性があります。入力方式の切り替えには、いくつかの方法があります。

● 切り替え方法_1

1. 文字の上で、右クリックします。

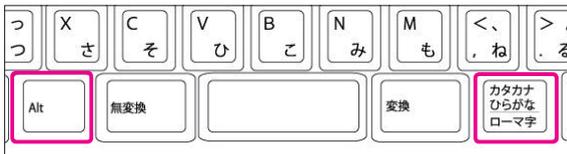


2. 「ローマ字入力 / かな入力」で入力を切り替えます。



● 切り替え方法_2

1. 「Alt」キーを押しながら、「カタカナ・ひらがな・ローマ字」キーを押します。



注意

キー配列は、製品によって異なります。

4

文書をファイルに保存

文書を作成しても、そのまま終了すると文書は消えてしまいます。文書を再度開きたい場合には、ファイルの保存作業が必要になります。

ファイルに保存

1. 「ファイル」をクリックして、「名前を付けて保存」をクリックします。



ワンポイント

作成した文書は、次回以降、内容を保持したまま閲覧、編集を行うために保存が必要になります。また、突然のアプリケーションの終了などの予期せぬトラブルの際にも文書を保存していないと、一から文書を作り直すことにもなりかねません。作成した文書は、適切な名前をつけて、随時、保存作業を行うようにします。

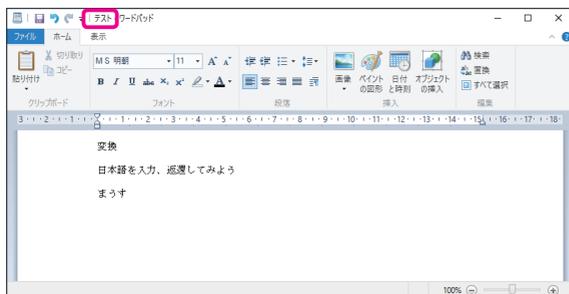
2. 「ファイル名」を入力したら、「保存」をクリックします。



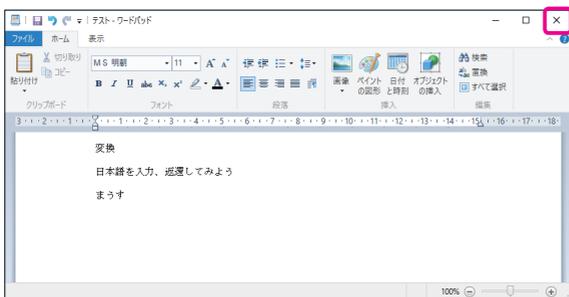
ワンポイント

ファイル名の最大長は、半角で255文字、全角で127文字までとなります。また、『』¥/!*?<>等の文字は、ファイル名に使用することができません。

3. タイトルバーにファイル文章の名前が表示されます。

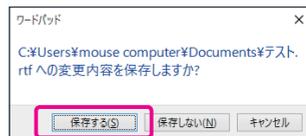


4. 「閉じる」 ボタンをクリックして、画面を閉じます。



ワンポイント

文書を保存する前に、ワードパッドを閉じようとするすると、以下の写真のようなダイアログボックスが表示されます。「保存する」をクリックすることにより、文書を保存してからワードパッドを閉じることができます。



5

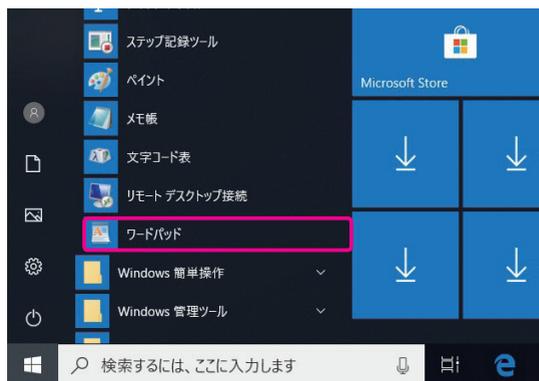
保存した文書を開く

保存した文書は、好きなときに開いて編集することができます。

保存した文書は、好きなときに開いて編集することができます。

ワードパッドから保存した文書を開く

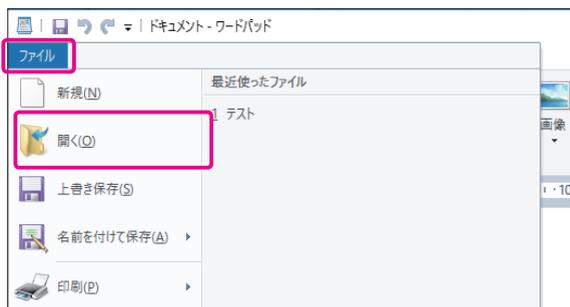
1. アプリ一覧から「ワードパッド」をクリックします。



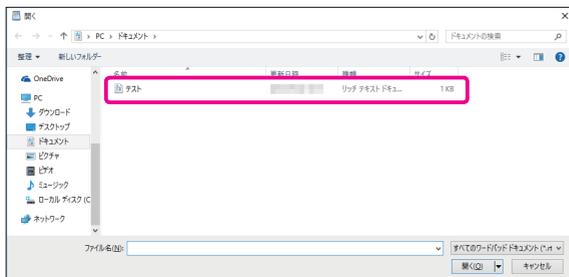
ワンポイント

アプリケーションの実行については、10ページをご参照ください。

2. ワードパッドが起動したら、「ファイル」から「開く」をクリックします。



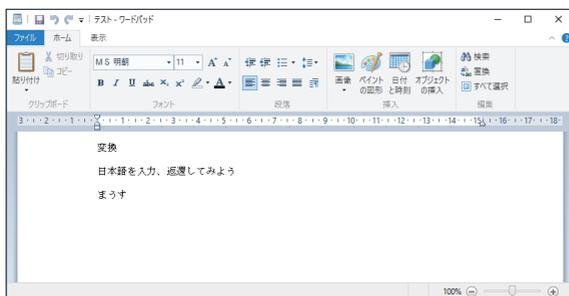
3. 開きたいファイル名をダブルクリックします。



ワンポイント

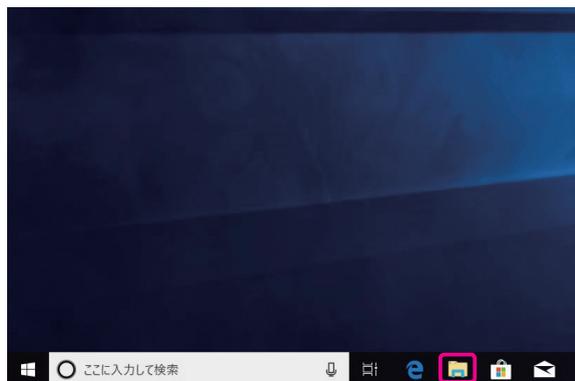
ワードパッドでは、Wordで作成したファイルを開くことが可能です。また、メモ帳などで作成したテキストファイルも読み込み可能です。テキストファイルをワードパッドに読み込んだ後、フォントの変更、レイアウトの調整などを行うことも可能です。本文を先にメモ帳などで作成して、全体的なレイアウトを後からワードパッドで行うことができます。

4. 選択したファイルが開きます。



デスクトップから保存した文書を開く

1. タスクバーの「エクスプローラー」をクリックします。



2. 保存先をクリックし、表示されたファイル名をダブルクリックします。



ファイルと フォルダーの操作

本章では、ファイルとフォルダーの参照、表示、作成、選択、削除、検索、圧縮および解凍の方法を説明します。

1 ● フォルダー内の参照	41
2 ● ファイルやフォルダーの一覧形式	43
3 ● ファイルやフォルダーの作成	45
4 ● ファイルやフォルダーの選択	47
5 ● ファイルやフォルダーの削除	49
6 ● ファイルやフォルダーの検索	51
7 ● ファイルやフォルダーの圧縮と解凍	52

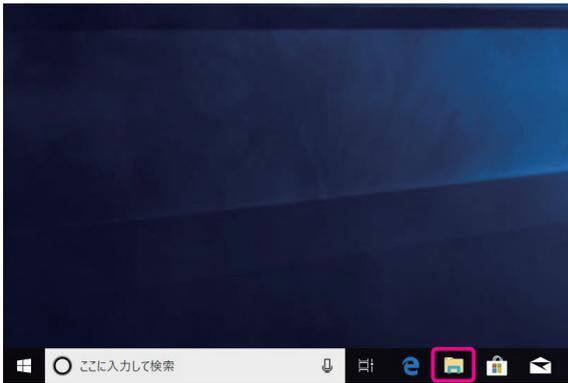
1

フォルダー内の参照

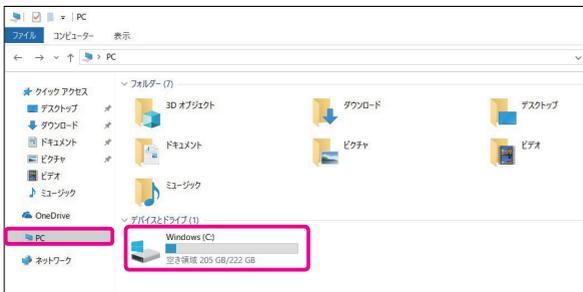
フォルダーをダブルクリックすることで、フォルダー内のファイルを参照することができます。この作業が「フォルダーを開く」になります。

フォルダー内の参照

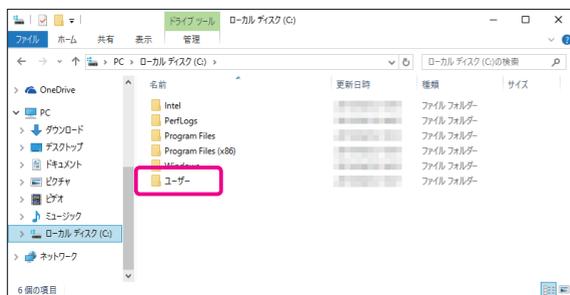
1. タスクバーの「エクスプローラー」をクリックします。



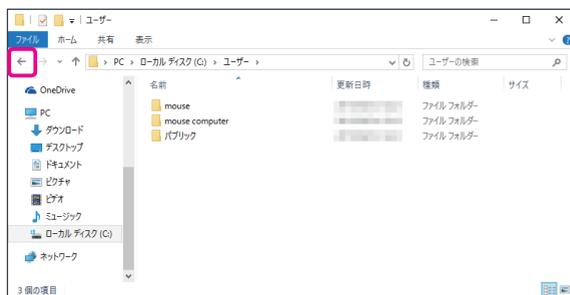
2. 「PC」をクリックしてから「Windows(C:)」をダブルクリックします。



3. ユーザーフォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開きます。

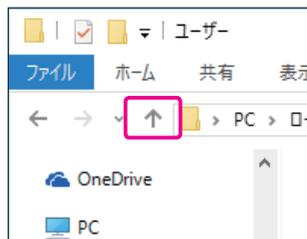


4. 「戻る」ボタンで、一つ前のフォルダーに表示を戻します。

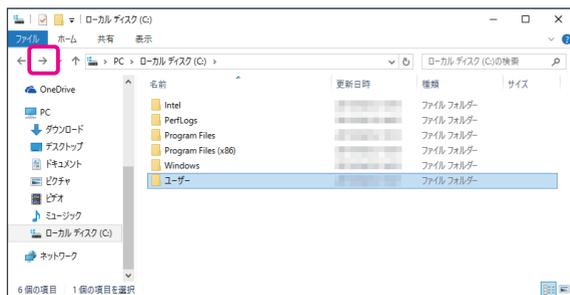


ワンポイント

一つ前の(親)フォルダーのみに戻るには、「↑」をクリックします。



5. 「進む」ボタンで、戻る前のフォルダーに進みます。



2

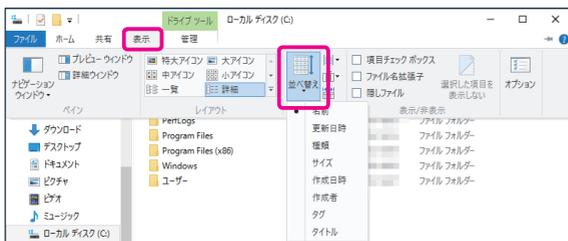
ファイルやフォルダーの一覧形式

フォルダーをダブルクリックすると、フォルダー内のファイルが一覧表示されます。表示には様々な形式があります。

ファイル・フォルダーの表示形式

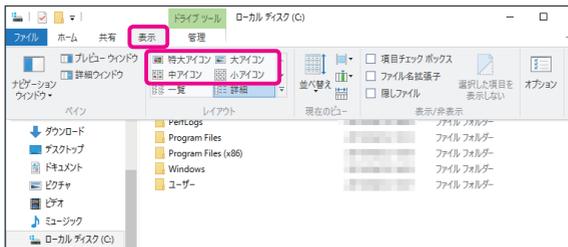
● 並び替え

「表示」メニュー→「並び替え」の順にクリックして、一覧から形式を選択します。



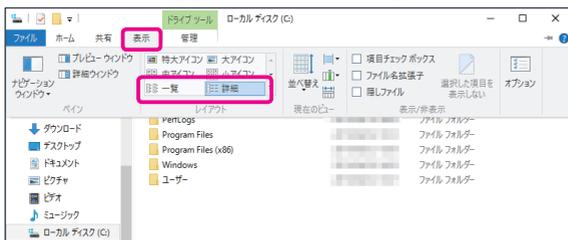
● アイコン

「表示」メニューをクリックして、アイコン形式を選択します。



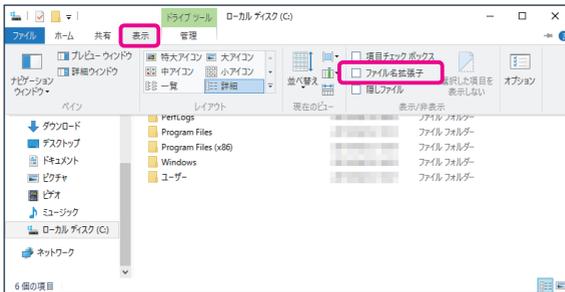
● 一覧・詳細

「表示」メニューをクリックして、一覧 or 詳細形式を選択します。



● ファイル名拡張子

拡張子とは、ファイルの末尾に付いているファイルの種類を識別するための文字列です。表示するには、「表示」をクリックして、「ファイル名拡張子」にチェックを入れます。



ワンポイント

拡張子



非表示

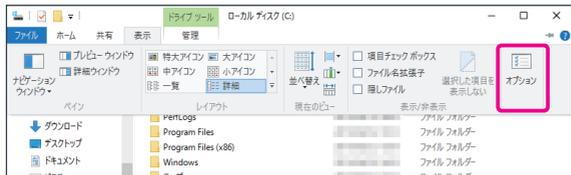


表示

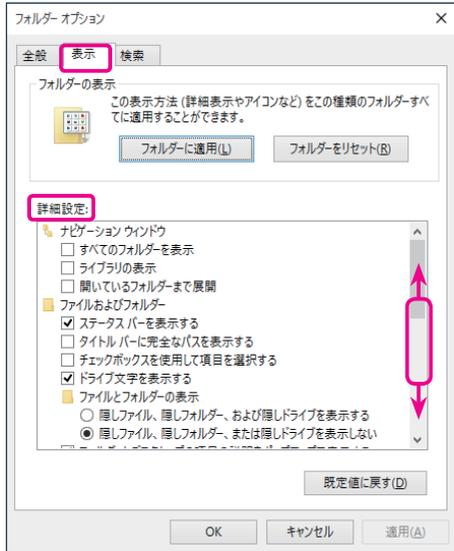
● フォルダーオプション

フォルダーオプションを使用して、拡張子の表示・非表示、暗号化や圧縮されたファイルやフォルダー色切り替え、隠しファイルの表示などの設定を変更することができます。

1. 表示メニューをクリックして、「オプション」をクリックします。



2. 「表示」タブをクリックして、詳細設定から設定を変更します。

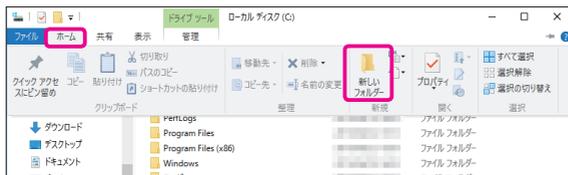


ファイルやフォルダーの作成

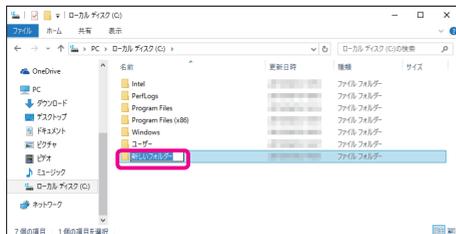
新しいファイルやフォルダーを使いたい場合は、新規作成する必要があります。ファイルやフォルダーの新規作成方法を説明します。

フォルダーの作成

1. 「ホーム」メニューをクリックして、「新しいフォルダー」をクリックします。

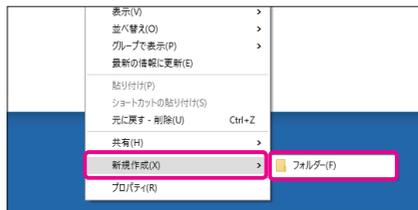


2. 「新しいフォルダー」が作成されます。

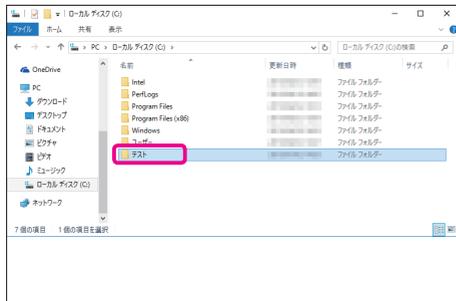


ワンポイント

フォルダーやデスクトップの何も無いところで右クリックし、「新規作成」→「フォルダー」の順で、新しいフォルダーを作成することができます。

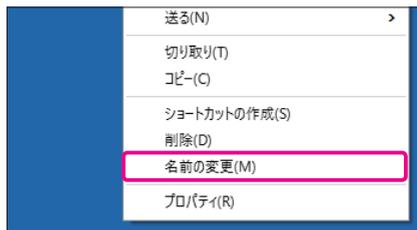


3. 青く反転している状態でフォルダー名を入力し、「Enter」キーを押します。



ワンポイント

青い反転が解除されてしまった場合には、フォルダーの上で右クリックし、「名前の変更」を選択します。



ファイルの作成

1. 「ホーム」メニューをクリックして、「新しい項目」をクリックします。一覧から「テキストドキュメント」を選択します。

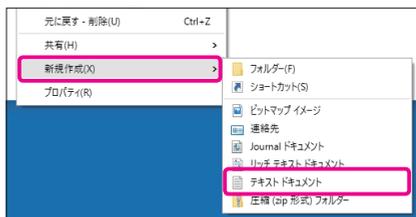


2. 「新しいテキストドキュメント」が作成されます。

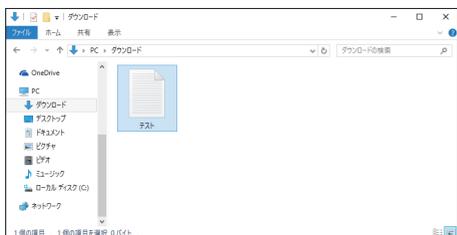


ワンポイント

フォルダーやデスクトップの何も無いところで右クリックし、「新規作成」→「テキストドキュメント」の順で、新しいファイルを作成することができます。

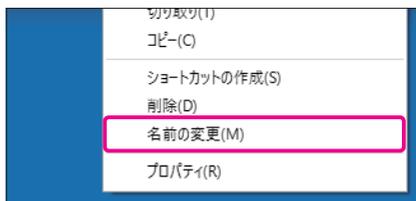


3. 青く反転している状態でファイル名を入力し、「Enter」キーを押します。



ワンポイント

青い反転が解除されてしまった場合には、フォルダーの上で右クリックし、「名前の変更」を選択します。



注意

1つのドライブ、およびフォルダー内に、同じ名前のファイル、フォルダーを2つ作成することはできません。同じ名前のファイルを作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。同じ内容のファイルを同じフォルダーに保存する場合は、末尾に文字を加えるなどして、ファイル名を別のものにする必要があります。

4

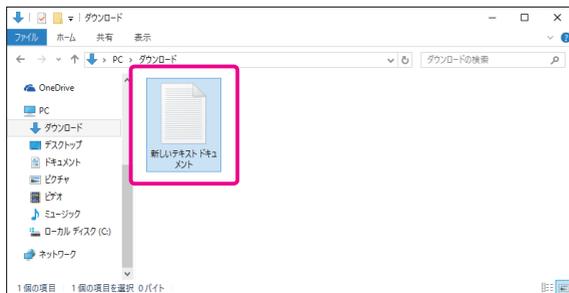
ファイルやフォルダーの
選択

ファイルやフォルダーを操作するためには、ファイルやフォルダーを選択してからになります。ファイルやフォルダーの選択方法を説明します。

ファイルの選択

● 選択

1. 選択したいファイルをクリックします。選択されたファイルは、青く反転します。

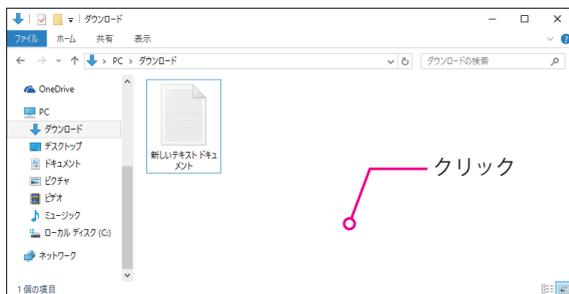


ワンポイント

「ダウンロード」フォルダー内で操作を行っています。

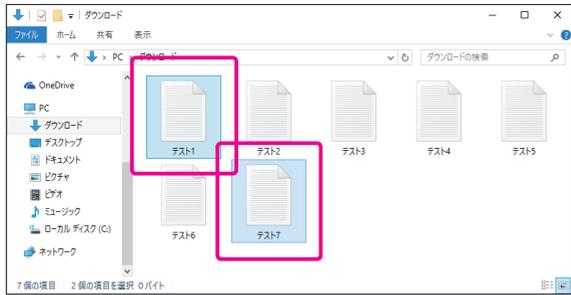
● 選択解除

1. 何も無いところでクリックして、選択を解除します。



● 離れた場所にあるファイルの選択

1. 最初のファイルを選択します。「Ctrl」キーを押しながら別のファイルを選択します。

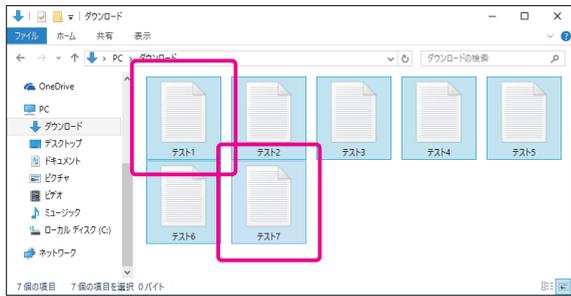


ワンポイント

離れた場所のファイルが、青く反転していることを確認します。

● 連続している複数ファイルの選択

1. 最初のファイルを選択します。「Shift」キーを押しながら最後のファイルを選択します。



ワンポイント

すべてのファイルが、青く反転していることを確認します。

テクニック

選択したいファイルを、ドラッグ操作で選択することができません。



5

ファイルやフォルダーの
削除

不要になったファイルやフォルダーは削除して整理します。ファイルの削除は、不要なファイルをごみ箱へドラッグします。

ファイルの削除

1. 削除したいファイルを「ごみ箱」にドラッグします。



テクニック

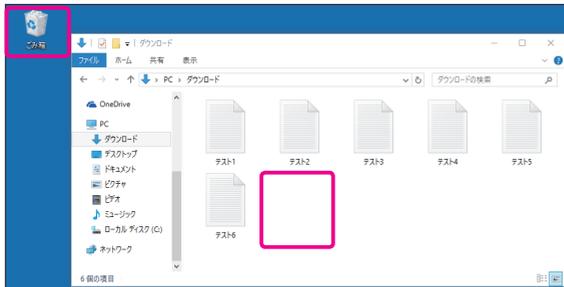
ファイルの上で右クリックし、表示されるメニューから「削除」をクリックしてもファイルを削除することができます。



2. 「ごみ箱」の上でマウスのボタンを離し、ドロップします。



3. ファイルが消えて、「ごみ箱」の形が変わります。



ファイルを完全に削除

1. 「ごみ箱」をダブルクリックします。「ごみ箱」の中が表示されます。



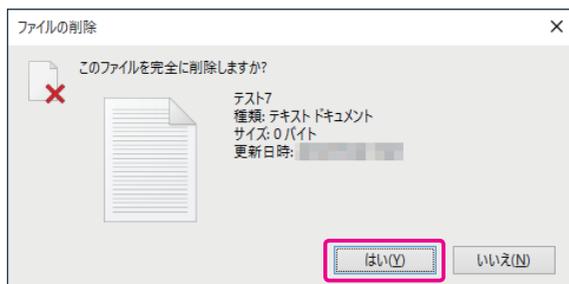
テクニック

通常、削除したファイルは一度ごみ箱に移動します。[ごみ箱]アイコンを右クリック⇒[プロパティ]⇒[ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す]にチェックを入れると、ごみ箱にファイルを移動することなく、パソコン上から直接ファイルを削除することができます。ただし、この方式でファイルを削除すると、ファイルを間違えて削除した場合に復元ができなくなります。

2. 「管理」メニューから、「ごみ箱を空にする」をクリックします。



3. 削除確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。



テクニック

[ごみ箱]を右クリックして表示されるメニューから、[ごみ箱を空にする]をクリックしてもごみ箱を空にできます。



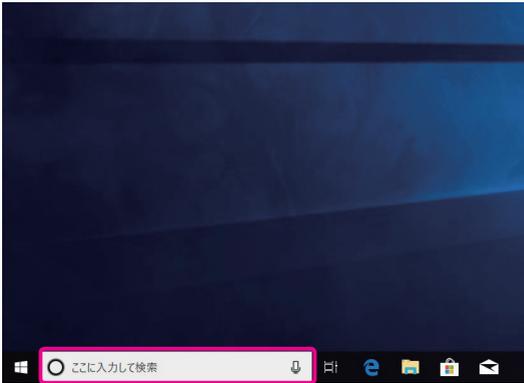
6

ファイルやフォルダーの検索

ファイルが見つからない場合などは、検索機能で目的のファイルを見つけることができます。

ファイル名からファイルの検索

1. 「検索枠」をクリックします。

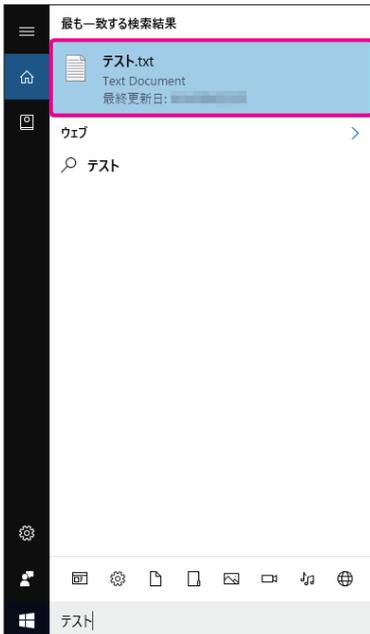


ワンポイント

キーボードの「」を押しながら「X」キーを押し、表示されたメニューから「検索」をクリックすることでも同様の操作を行うことができます。



2. 検索したいファイル名を入力すると、検索結果が表示されます。



ワンポイント

入力した文字に対して、前方一致で検索されます。部分一致には対応していません。

ワンポイント

検索可能な文字列であれば、ローマ字で入力しても「ひらがな/カタカナ」や「漢字」の名前のアプリも検索できます。

<例> 「dentaku」 → 「電卓」

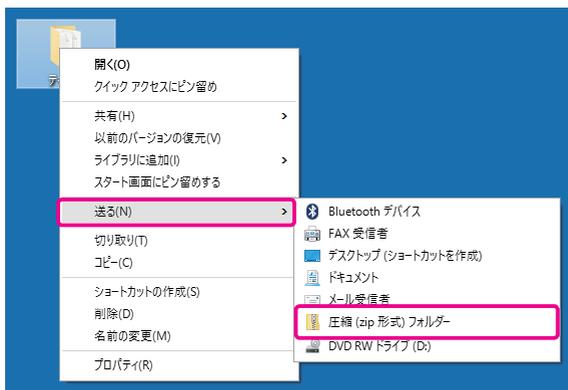
7

ファイルやフォルダーの
圧縮と解凍

ファイルやフォルダーは「圧縮」と呼ばれる作業を行うことで、容量を減らすことができます。ここでは、フォルダーの圧縮と解凍について説明します。

フォルダーの圧縮

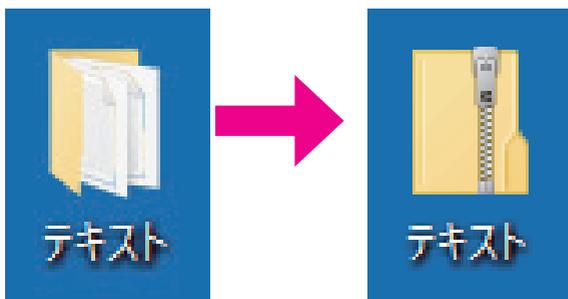
1. 圧縮したいフォルダーを右クリックします。メニューの中から「送る」→「圧縮 (ZIP 形式) フォルダー」の順にクリックします。



ワンポイント

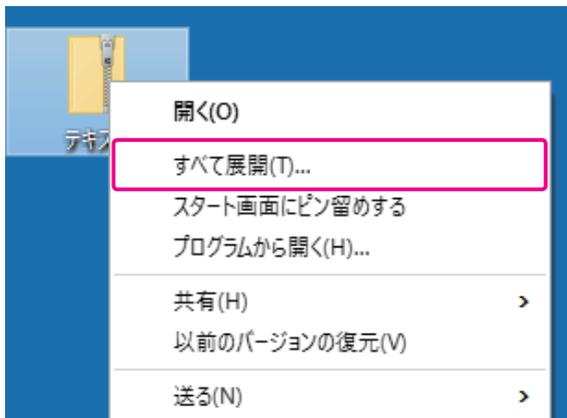
圧縮ファイルは、圧縮されていないファイルに比べて、使用する記憶域が少なくなります。他のコンピューターへの転送時間もより短くすることができます。圧縮ファイルと圧縮フォルダーは、圧縮されていないファイルやフォルダーと同じように扱うことができます。また、複数のファイルを1つの圧縮フォルダーとしてまとめることもできます。こうすることにより、電子メールメッセージの添付が複数のファイルでなく1つのフォルダーだけで済むため、複数ファイルの共有がより容易になります。

2. 圧縮したフォルダーが作成されます。



圧縮したフォルダーの解凍

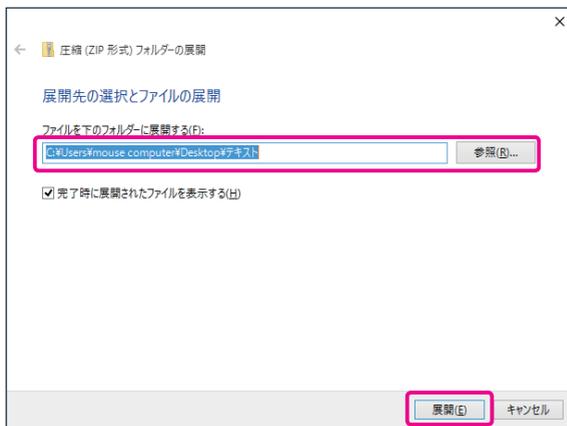
1. 解凍したいフォルダーを右クリックします。メニューの中から「すべて展開」をクリックします。



ワンポイント

ファイルを圧縮する形式には、ZIPの他に、LZH、RARといった形式があります。Windows 10で圧縮・解凍を行えるのは、ZIP形式のみとなります。他の圧縮形式を使用するには、別途アプリケーションを使用する必要があります。

2. 解凍したファイルを展開する場所を選択したら、「展開」をクリックします。



3. フォルダの解凍が完了します。



インターネットとメール

Microsoft Edge を使用した Web 閲覧と、電子メールについて説明します。

- 1 ● Web ページを閲覧する55
- 2 ● 特定の Web ページをスタート画面にピン留めする57
- 3 ● お気に入りへの追加 / 表示 / 削除59
- 4 ● メール起動と初期設定63
- 5 ● メール本文の作成67

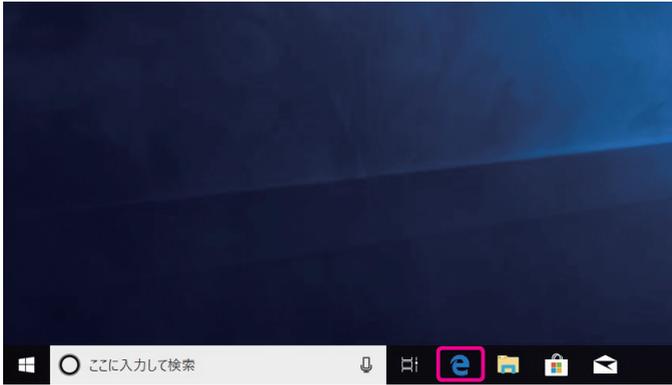
1

Web ページを閲覧する

Windows10 では、従来のデスクトップで利用できる「Internet Explorer11」と、新たに追加された「Microsoft Edge」で Web ページを閲覧することができます。ここでは「Microsoft Edge」について説明します。

Microsoft Edge を起動する

1. タスクバーの「Microsoft Edge」のアイコンをクリックします。



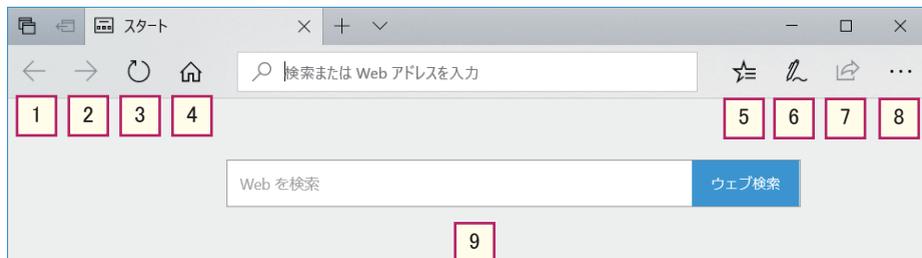
2. Microsoft Edge が起動します。



注意

Microsoft Edge を利用するには、インターネット回線が必要です。

画面説明



1 戻る

ひとつ前のページに戻ります。

2 進む

一度戻ったページから、先のページに進みます。

3 最新の情報に更新

現在表示されているページが更新されていた場合、最新の情報が表示されます。「F5」キーを押すことでも代用できます。

4 ホーム

スタートページを表示します。

5 ハブ

お気に入りやダウンロード状況などの確認ができます。

6 Web ノートの作成

現在表示されているページに、文字を書いたりすることができ、その情報を保存することができます。

7 共有

Web 情報を共有します。

8 他の操作

新しいウィンドウで Microsoft Edge を起動したり、拡大 / 縮小や印刷などを行うことができます。

9 検索枠

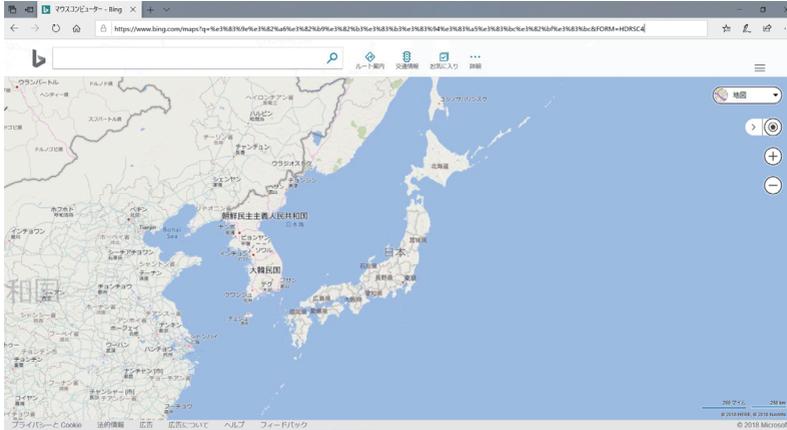
検索したいワードを入力します。

2

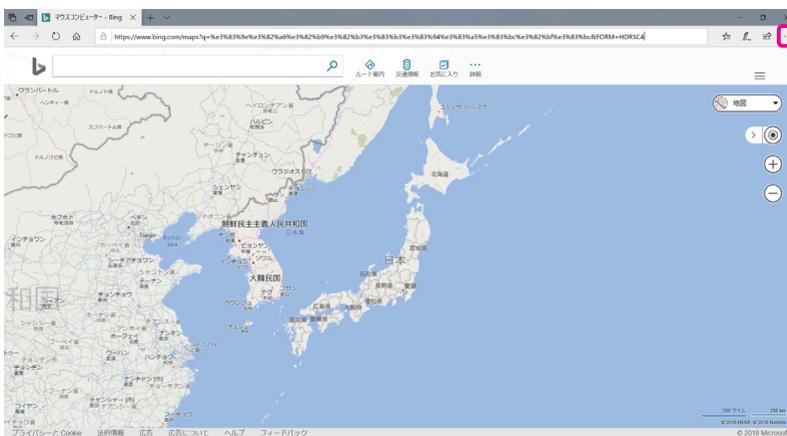
特定の Web ページを スタート画面にピン留めする

スタート画面にピン留めする

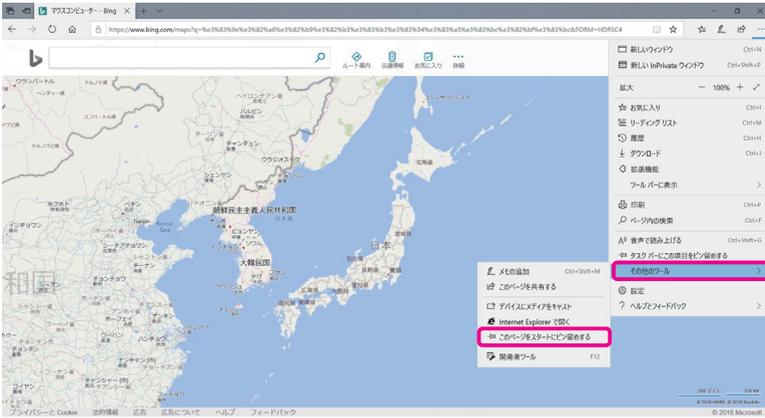
1. Microsoft Edge で、ピン留めしたい Web ページを開きます。



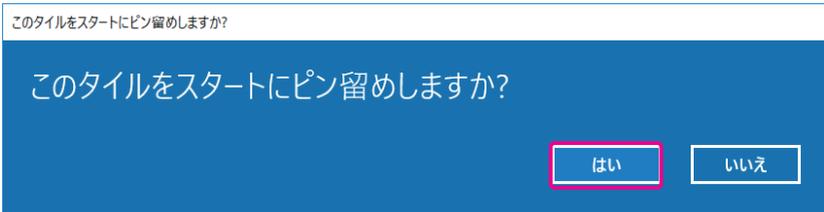
2. ウィンドウ右上の「…」のボタンをクリックします。



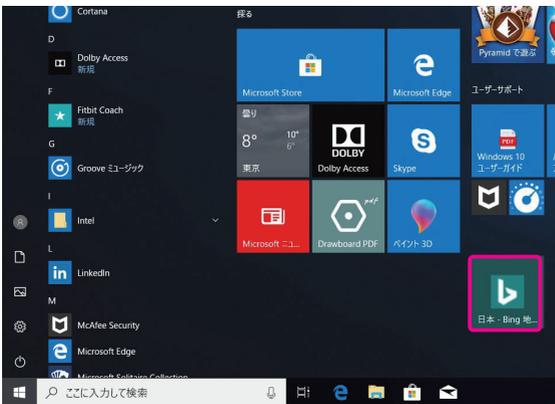
3. 「その他のツール」「このページをスタートにピン留めする」をクリックします。



4. 「はい」をクリックします。

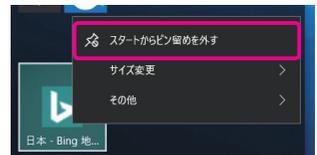


5. スタート画面に、ピン留めした Web ページのタイルが表示されます。



ワンポイント

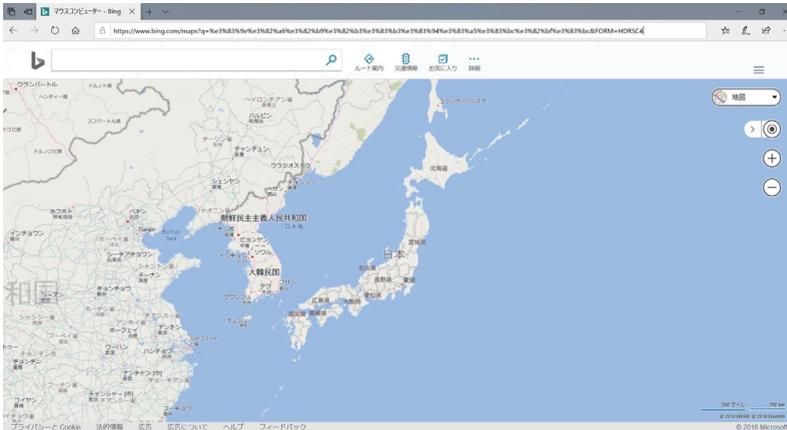
スタート画面にピン留めした Web ページを外すには、タイルの上で右クリックし、「スタート画面からピン留めを外す」をクリックします。



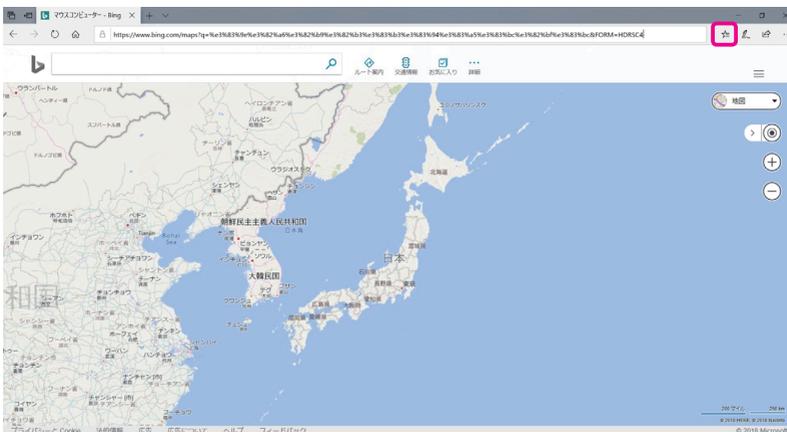
お気に入りへの追加 / 表示 / 削除

Microsoft Edge でお気に入りに追加する

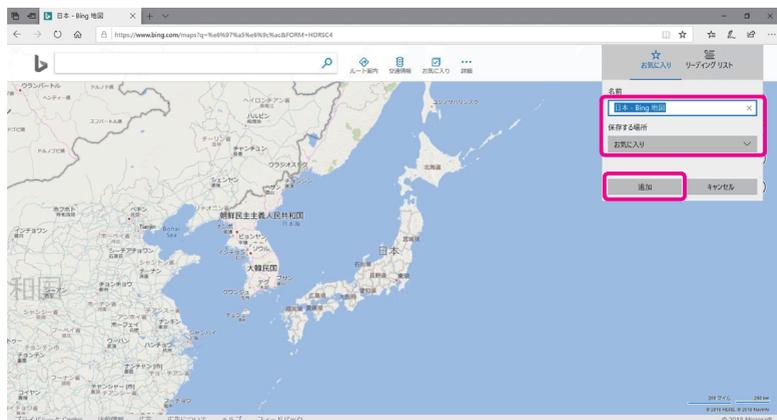
1. Microsoft Edge で、お気に入りに追加したい Web ページを開きます。



2. 「☆」のボタンをクリックします。



3. お気に入りに表示する名前と、保存先を指定して「追加」をクリックします。

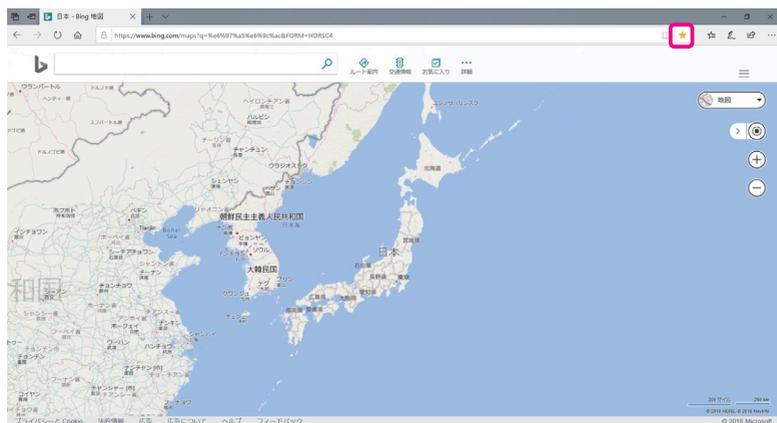


ワンポイント

「作成先」を指定なし、もしくは「お気に入り」で登録した場合、後述のお気に入りからの表示で、一覧に表示されます。

フォルダーを作成して保存することで、用途別にお気に入りを整理することができます。フォルダーを作成するには「新しいフォルダーの作成」をクリックしてください。

4. 「☆」のボタンが黄色くなり、お気に入りに登録されます。

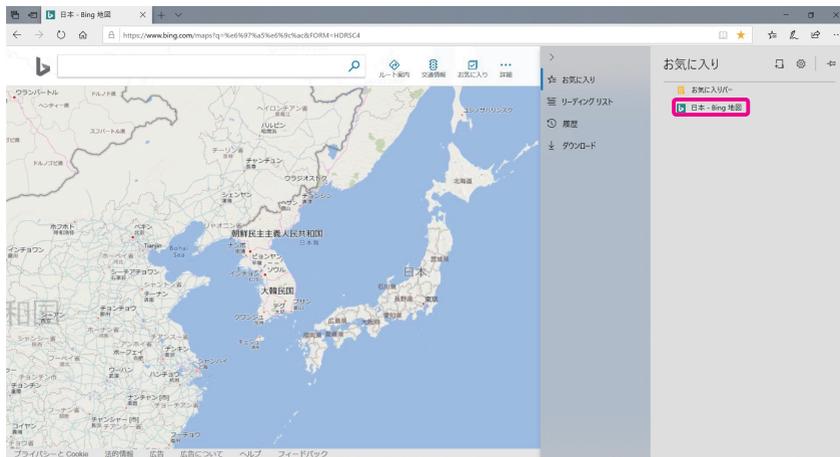


登録したお気に入り Web ページを表示する

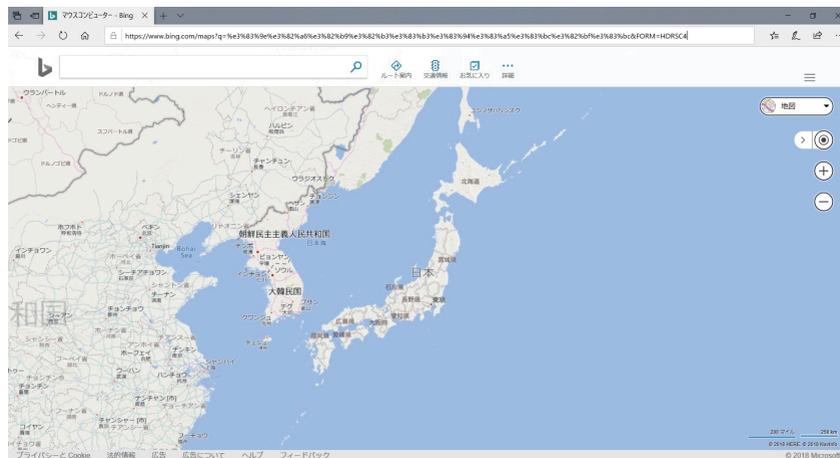
1. Microsoft Edge を起動し、「」のボタンをクリックします。



2. 表示したい Web ページの登録名をクリックします。



3. 選択した Web ページが表示されます。

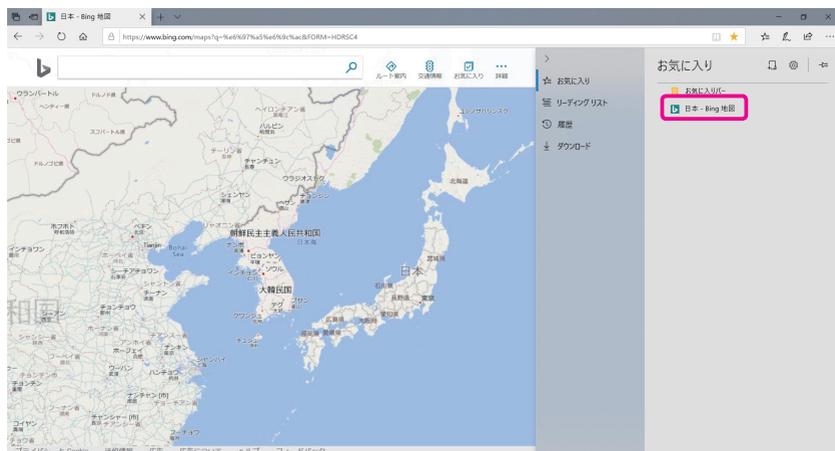


登録したお気に入り Web ページを削除する

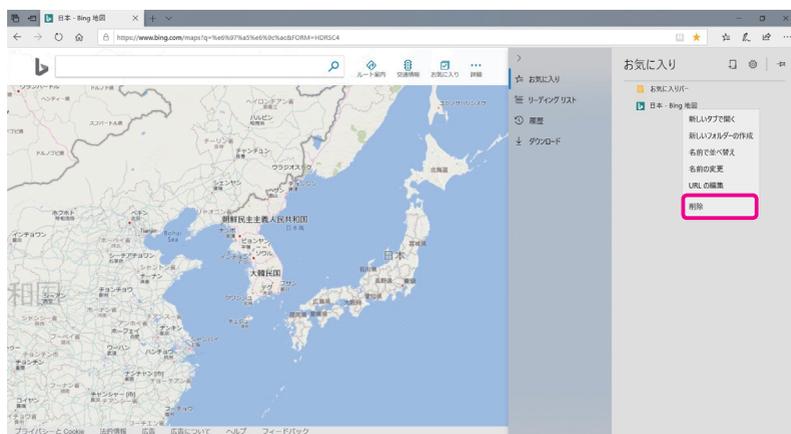
1. Microsoft Edge を起動し、「」のボタンをクリックします。



2. 削除したい Web ページの登録名を右クリックします。



3. 「削除」をクリックします。

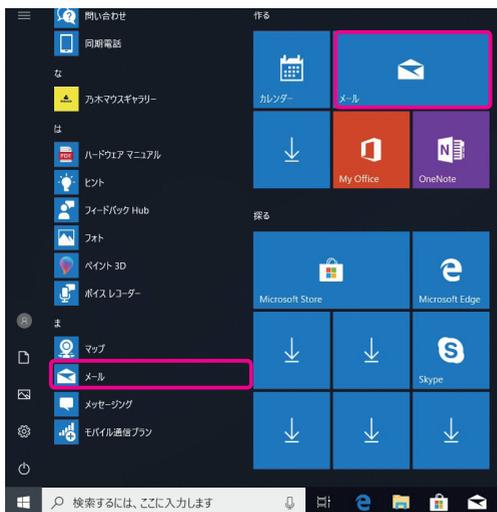


4

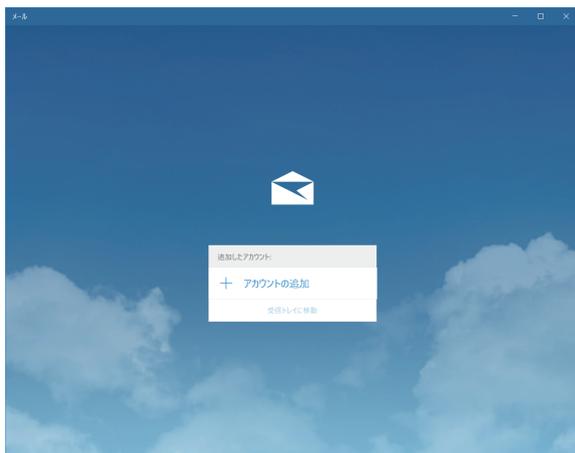
メールの起動と初期設定

「メール」の起動

1. スタート画面で「メール」をクリックするか、タイルで表示された「メール」をクリックします。

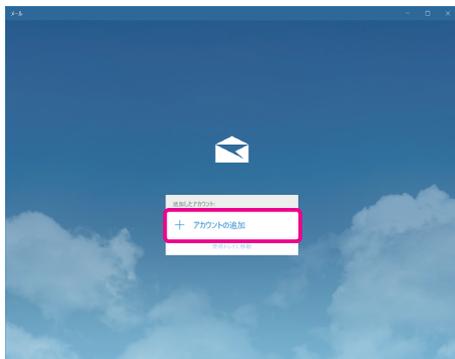


2. 「メール」が起動します。



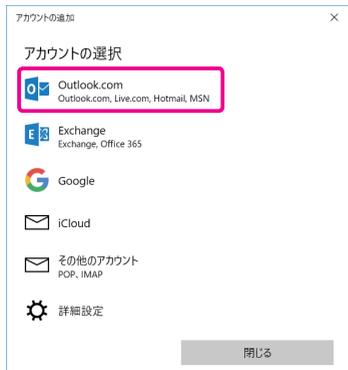
初回設定

1. 「アカウントの追加」をクリックします。

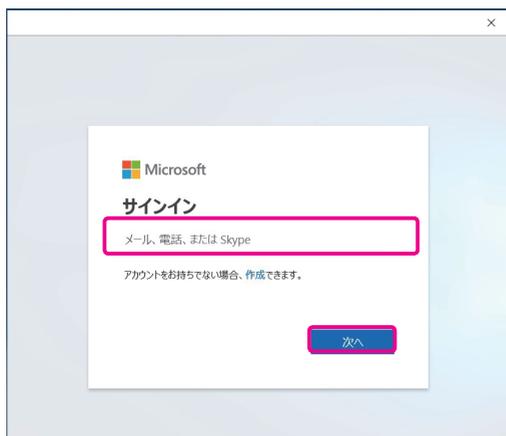
 注意

初回設定を行うには、インターネット回線が必要です。

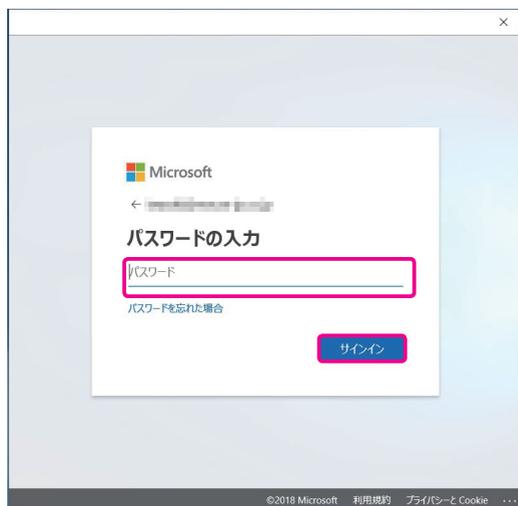
2.Outlook.com を選択します。



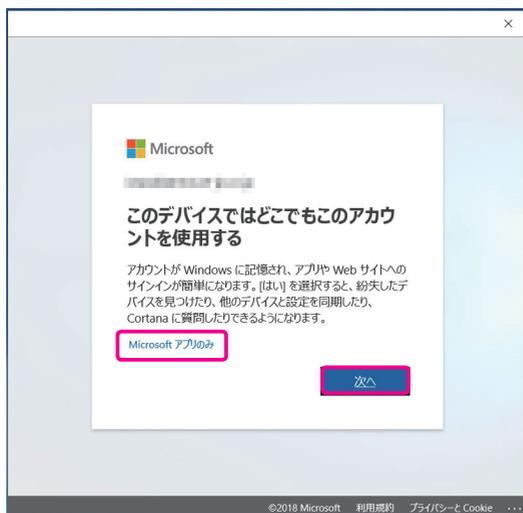
3. メールアドレスを入力し、「次へ」をクリックします。



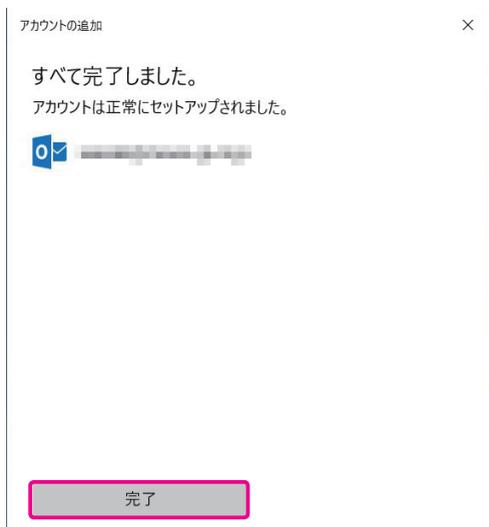
4. パスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。



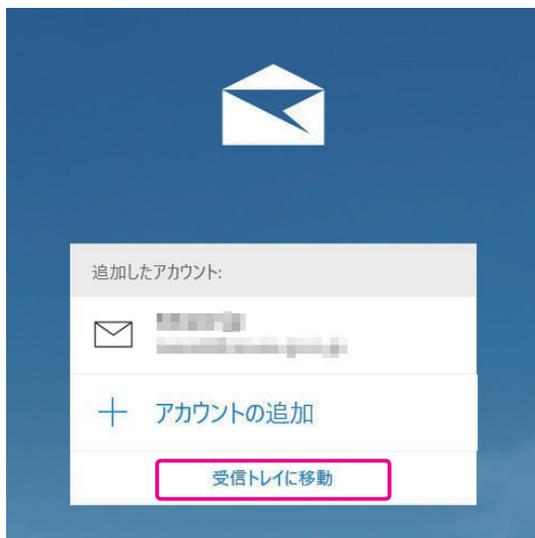
5. アカウント情報を Windows に記録する場合には「次へ」をクリックします。 アプリのみに記録する場合には「Microsoft アプリのみ」をクリックします。



6. セットアップが完了しましたので「完了」をクリックします。



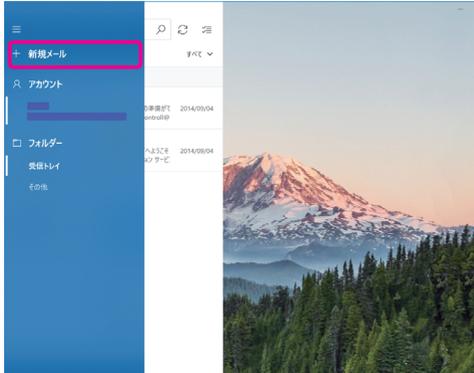
7. 「受信トレイに移動」をクリックします。



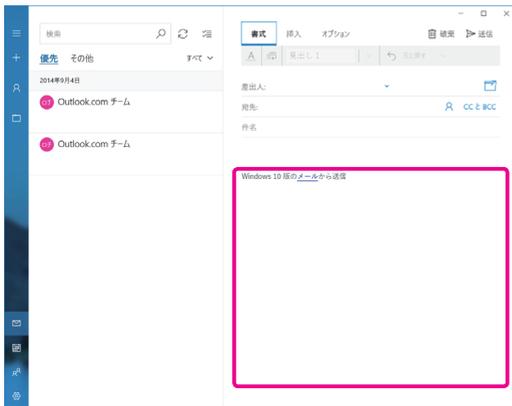
メール本文の作成

新規にメールを作成する

1. 「新規メール」をクリックします。



2. メール本文を記載します。



ワンポイント

メール送信の形式には、テキスト形式と、リッチテキスト (HTML) 形式の 2 種類があります。リッチテキスト (HTML) 形式でのメールは、表現豊かなメールを作成することができますが、受信側のメールソフトが対応していないと、正しく内容を表示できない可能性があります。文章のみのメールを主に使用する場合は、テキスト形式に変更します。変更方法は、「メッセージ」メニューの「テキスト形式」をクリックします。なお、初期設定では、リッチテキスト (HTML) 形式になっています。

画面説明

**1** 書式

文字の書体や大きさを設定します。

2 挿入

添付ファイルや表などをメールに挿入します。

3 オプション

スペルチェックなどを行います。

4 破棄

作成したメールを、保存も送信もせずに破棄します。

5 送信

作成したメールを送信します。

6 宛先

メールを送る相手のメールアドレスを入力します。

7 CC と BCC

宛先以外に、同じ内容を送りたい相手のメールアドレスを入力します。

8 件名

メールの要件を入力します。

CHAPTER 5

Windows の 各種設定

Windows の各種設定について説明します。

1 ● 画面の解像度を変更する	70
2 ● デスクトップの背景を設定する	73
3 ● 日付と時刻を設定する	75
4 ● ユーザーアカウント(家族のアカウントを追加する)	77
8 ● ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替える	88
9 ● Microsoft アカウントを ローカルアカウントに切り替える	92
10 ● マルチディスプレイ設定方法	95

1

画面の解像度と表示スケールを変更する。

最適な解像度が自動的に設定されるため通常は変更の必要はありません。表示される文字の大きさを変更したい場合には表示スケールを変更してください。

画面の解像度と表示スケールを変更する。

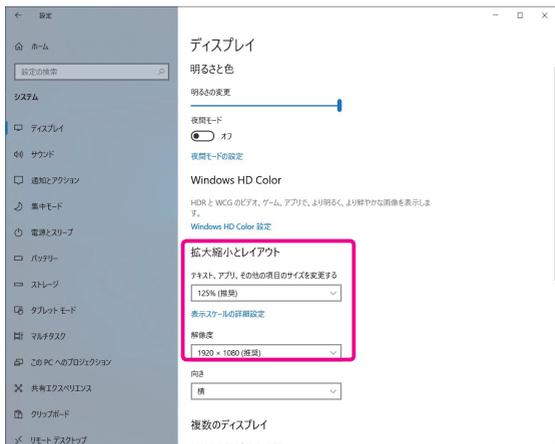
1. 「Windows の設定」→「ディスプレイ」の順にクリックします。



ワンポイント

Windows HD Color の設定はモデルにより表示されない場合があります。

2. テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する、または解像度のプルダウンをクリックします。



3. 変更したい値を選択します。



4. 画面表示が設定された内容に切り替わり、確認のメッセージが表示されます。「変更の維持」をクリックします。



ワンポイント

「元に戻す」をクリックするか、この画面のまま 15 秒間変更を行わないと、設定した内容がキャンセルされ、元の画面に戻ります。

ワンポイント

表示スケールを変更した場合には、一度ログアウトする必要があります。

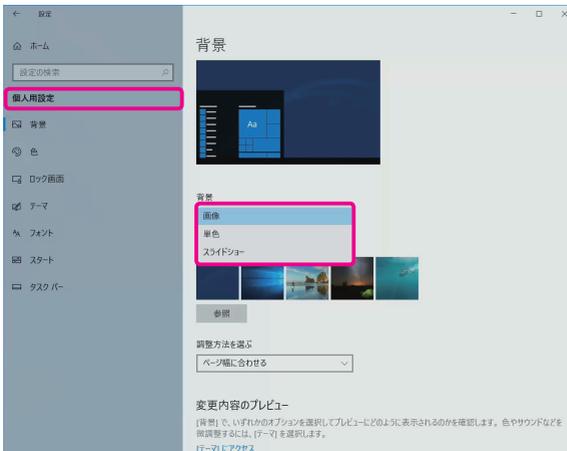
2

デスクトップの背景を設定する

デスクトップの背景は、自分の好みに設定することができます。自分で撮った写真を背景に設定することもできます。

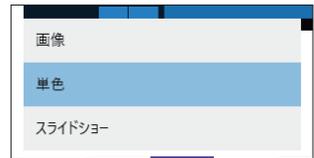
デスクトップ背景の設定

1. 「Windows の設定」→「個人用設定」の順にクリックします。
2. プルダウンメニューから項目を選択します。



ワンポイント

設定を変更した時点で、背景が変わります。選択できる項目は、以下の3つです。



●画像

1枚の画像を背景に設定します。

画像を選んでください
プリセットされた画像から選択します。また、「参照」をクリックすることで、お好みの画像を設定することもできます。

調整方法を選ぶ
選択した画像の表示方法を選択します。



●単色

1つの色のみの背景に設定します。

背景色
プリセットされた色から選択します。



●スライドショー

2枚以上の画像を自動で変更表示する背景に設定します。

スライドショーのアルバムを選ぶ
表示したい画像が格納されたフォルダーを選択します。

画面の切り替え間隔
現在の背景から、他の背景に変わるまでの時間を設定します。

調整方法を選ぶ
選択した画像の表示方法を選択します。



📌ワンポイント

スライドショーでは、画像ではなく、画像が格納されたフォルダーを指定します。指定したフォルダー内の画像はすべてスライドショーの対象になります。

📌ワンポイント

選択した画像の大きさや調整方法によっては、意図しない表示になることがあります。

日付と時刻を設定する

日付と時刻は自動的に設定されていますが正しくない場合には設定を行ってください。

日付と時刻の設定

1. 「Windows の設定」 → 「時刻と言語」の順にクリックします。



ワンポイント

Windows の設定を開く方法については、12 ページをご参照ください。

2. 「時刻を自動的に設定」するがオンになっていることを確認してください。インターネットに接続されている場合自動的に設定が行われます。

2-1. 手で日付と時刻を設定する場合は「時刻を自動的に設定する」をオフにして「変更」をクリックします。



2-2. 日付と時刻を設定して「変更」をクリックします。



4

ユーザーアカウント (家族のアカウントを追加する)

ユーザーアカウントを追加することで、利用者ごとに OS 設定を管理できます。パスワードの設定もここから行います。

ユーザーアカウントの追加

1. 「Windows の設定」→「アカウント」→「家族とその他のユーザー」の順にクリックします。



ワンポイント

家族のアカウントを追加するにはマイクロソフトアカウントでサインインする必要があります。

2. 「家族のメンバーを追加」をクリックします。



3. どちらかを選択し、メールアドレスを入力して「次へ」をクリックします。

Microsoft

お子様または大人を追加しますか?

追加するユーザーのメールアドレスを入力してください。ユーザーが、Windows、Office、Outlook.com、OneDrive、Skype、Xbox を使用している場合、ユーザーがサインインに使用するメールアドレスを入力してください。

お子様を追加する

保護者を追加する

メールアドレスを入力してください

キャンセル 次へ

4. 「確認」をクリックします。

Microsoft

このユーザーを追加しますか?

をファミリーとこのデバイスに追加することを確認してください。

戻る 確認

ワンポイント

ご家族のアカウントを登録する場合、登録する方が Microsoft アカウントでサインインしている必要があります。登録する方がローカルアカウントでご使用の場合は、85 ページをご参照いただき、Microsoft アカウントへの切り替えを行ってください。

5. 「閉じる」をクリックします。



ワンポイント

アカウントには権限が存在しますが、「お子様」「保護者」のどちらかを選択しても、「標準権限」で設定されます。権限を変更するには、81 ページをご参照ください。

6. 登録したアカウントが表示されます。



ワンポイント

登録するアカウントの使用者が、すでにメールアドレスをお持ちの場合は、メールアドレスを入力し、そのまま手順 7.へお進みください。

メールアドレスを別途作成する場合は「追加するユーザーがメールアドレスを持っていません」をクリックし、79 ページへお進みください。

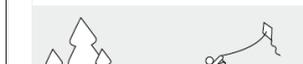
ワンポイント

この時点では登録が保留されています。保留を解除するには、登録したメールアドレスに本人確認のメールが送信されておりますので、そのメールを承諾する必要があります。

めています。承諾すると、既定の変更、週ごとのアクテ
きます。

招待の承諾

この招待は 14 日でも有効期限が切れます。



●登録するアカウントがメールアドレスをお持ちでなく、新規でメールアドレスを取得する場合

7. 必要事項を入力し、「次へ」をクリックします。

Microsoft アカウント

アカウントを作成しましょう

Windows、Office、Outlook.com、OneDrive、Skype、Xbox。Microsoft アカウントでサインインすると、これらすべてがもっと便利で、さらに個人向けにカスタマイズされたものになります。 [詳細情報](#)

新しいメール @outlook.jp

または、既にお持ちのメールアドレスを使う

パスワード

日本

生まれた年 月 日

[次へ](#) [戻る](#)

ワンポイント

メールアドレスは他人と重複することはできませんので、希望のメールアドレスが作成できるとは限りません。

「このメールアドレスは既に使われています」と表示された場合は、名称を変更するか、前後に数字を挿入することで使用できる場合があります。

8. 電話番号を入力し、「次へ」をクリックします。

Microsoft アカウント

お客様の情報の保護にご協力ください

お客様のセキュリティ情報によってお客様のアカウントが保護されます。お客様のセキュリティ情報は、お客様のパスワードの回復、アカウントのハッキング被害の防止、ブロック時のアカウントの復元などに使われます。スパムには使われません。

日本 (+81)

電話番号

[次へ](#) [戻る](#)

代わりに連絡用メールアドレスを追加

ワンポイント

日本国内で使用する場合、国番号は変更する必要はありません。

ユーザーアカウントの権限の変更

登録したアカウントは、初期状態では「標準」の権限が設定されます。これを「管理者」権限に変更する方法を説明します。

1. 権限を変更したいアカウントをクリックします。



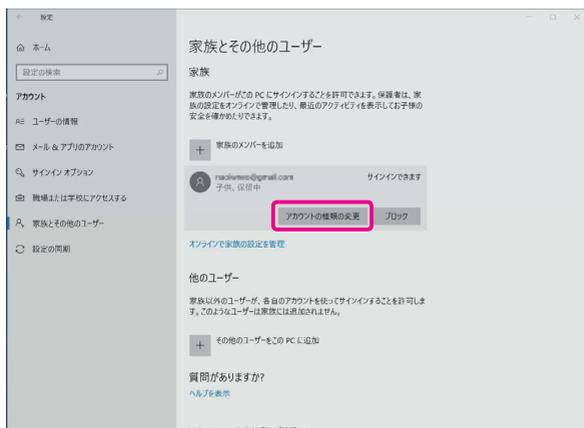
ワンポイント

この設定は、管理者権限を持つアカウントでサインインした場合でしか変更できません。

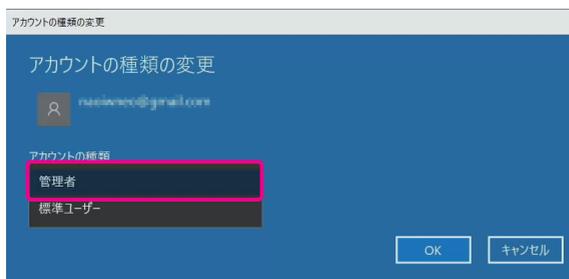
注意

標準設定では、システム構成に関連する操作が制限されます。具体的にはアプリやデバイスドライバのインストール/アンインストール、アカウントの操作などが該当します。管理者権限ではこれらを制限なしに変更することが可能です。

2. 「アカウントの権限の変更」をクリックします。



3. プルダウンメニューから管理者を選択して OK をクリックします。



4. 権限が変更されていることを確認します。



ユーザーアカウントの削除

不要になったアカウントを削除する方法を説明します。

1. 削除したいアカウントをクリックし、「削除」をクリックします。



ワンポイント

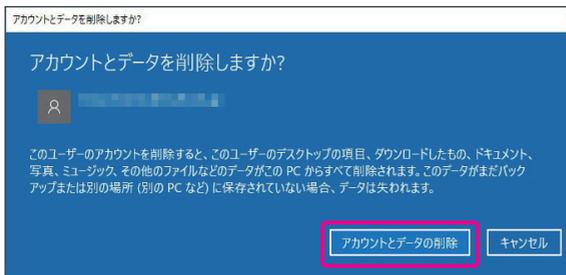
この設定は、管理者権限を持つアカウントでサインインした場合でしか変更できません。

また、現在サインイン中のアカウントは削除することはできません。

ワンポイント

ユーザーアカウントの削除が行えるのは、「他のユーザー」として登録したアカウントのみです。「家族」として登録したユーザーアカウントは削除できません。

2. 「アカウントとデータの削除」をクリックします。



注意

この作業を行った時点で、削除対象のアカウントに紐づくデータも削除されます。

削除した後に同じ名前のアカウントを再度作成しても、以前のデータを復旧させることはできません。

3. 削除したアカウントが消えていることを確認します。



5

ローカルアカウントを
Microsoft アカウントに切り替える

Microsoft アカウントへの切り替え (Microsoft アカウントをお持ちの場合)

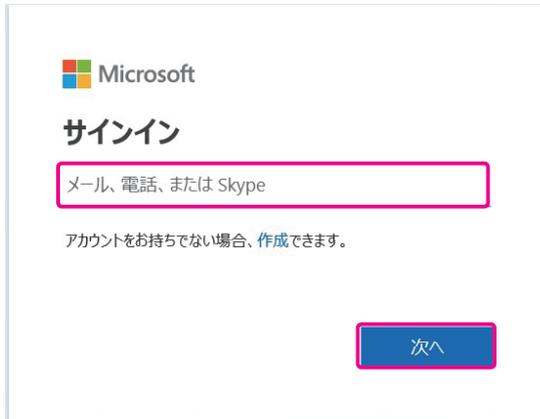
1. アカウント設定を開き、「ユーザーの情報」をクリックし、「Microsoft アカウントでのサインインに切り替える」をクリックします。



ワンポイント

アカウント設定画面の表示方法は、76 ページをご参照ください。

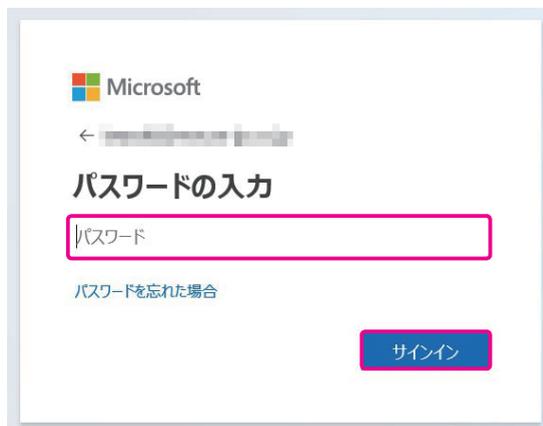
2. Microsoft アカウントのメールアドレスを入力し、「次へ」をクリックします。



ワンポイント

Microsoft アカウントをお持ちでない場合は、79 ページをご参照ください。

3. Microsoft アカウントのパスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。



4. ローカルアカウントで使用していたパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



ワンポイント

パスワードを使用していなかった場合は、何も入力せずに「次へ」をクリックします。

5. 「次へ」をクリックします。



6. PINを入力し、「OK」をクリックします。



ワンポイント

PIN は、サインインやロック解除時にパスワードの代わりとして使用できる暗証番号です。4桁以上の数字を使用して登録することができます。

7. アカウント名の下に Microsoft アカウントのメールアドレスが表示されていれば、設定完了です。



6

Microsoft アカウントを ローカルアカウントに切り替える

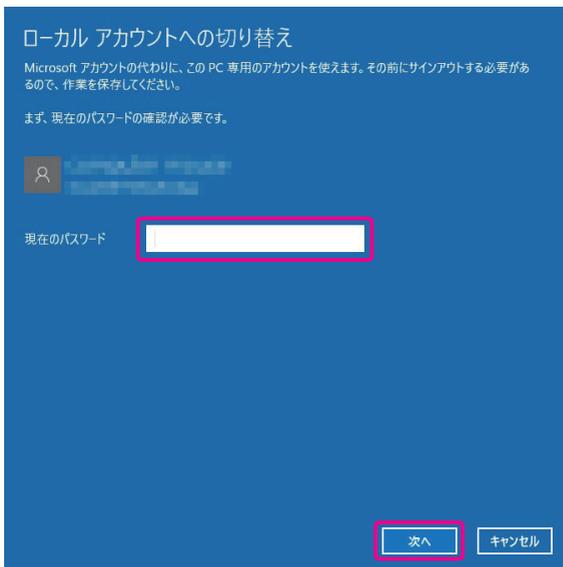
Microsoft アカウントからローカルアカウントに切り替える際は、Windows からサインアウトする必要があります。作業中のデータがある場合は、必ず保存してから切り替えを行ってください。

ローカルアカウントへの切り替え

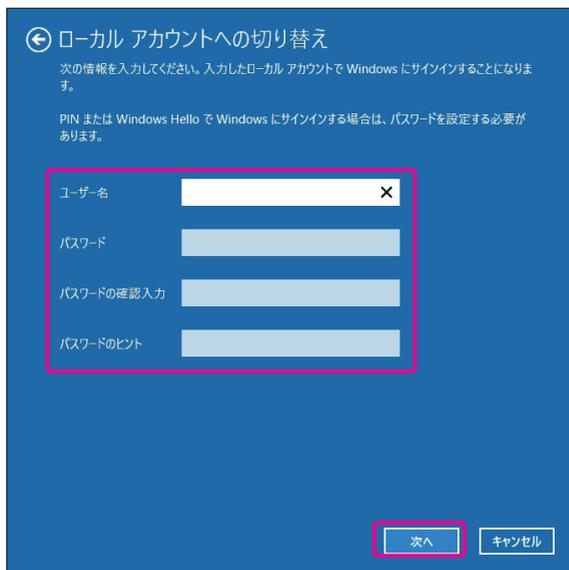
1. アカウント設定を開き、「ユーザーの情報」をクリックし、「ローカルアカウントでのサインインに切り替える」をクリックします。



2. Microsoft アカウントのパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



3. ローカルアカウントで使用するアカウント情報を入力し、「次へ」をクリックします。



ワンポイント

パスワードは未設定でも登録は可能ですが、PCのセキュリティが低い状態になるため、設定することを推奨いたします。

4. 「サインアウトと完了」をクリックします。



5. 自動的にサインアウトします。設定したアカウントでサインインします。アカウント名の下に「ローカルアカウント」と表示されていれば、設定完了です。



7

マルチディスプレイ設定方法

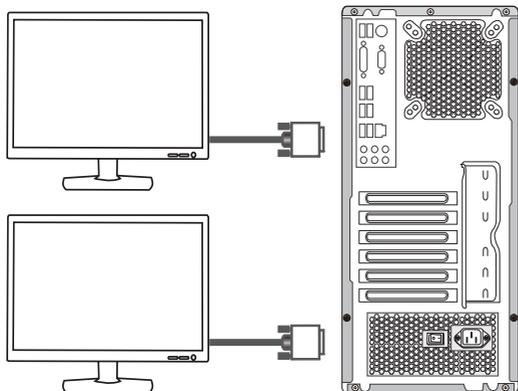
マルチディスプレイの設定方法について説明しています。

ノートパソコンをご購入のお客様はハードウェアマニュアル(PDF)をご確認ください。

マルチディスプレイとは、1台のPCで複数のディスプレイを扱う手法です。同じ画面を複数のディスプレイへ出力したり、画面サイズを拡張して複数のディスプレイにまたがるように表示したりすることができます。

※注意※

マルチディスプレイは、2つ以上の外部ディスプレイ端子が必要になります。別途グラフィックカードを搭載した場合は、グラフィックカードの端子にディスプレイを接続してください。



注意

あらかじめ2台のディスプレイを用意して、パソコン本体と接続しておく必要があります。

注意

製品によって、設定方法が異なります。

注意

一部の SLI・CrossFire 採用機種でマルチディスプレイ設定を行うには、SLI・CrossFire の機能を無効にする必要があります。

ディスプレイの切り替え方法

Windows キー「」を押しながら、「P」キーを押します。

切り替えモードについて

表示



PC 画面のみ



複製



拡張



セカンドスクリーンのみ

ワイヤレス ディスプレイに接続する

PC 画面のみ

プライマリディスプレイ（ディスプレイの認識画面で「1」と表記されるディスプレイ）のみに表示します。

複製

2台のディスプレイの両方に、同じ情報を表示します。解像度やアスペクト（縦横）比が異なるディスプレイを接続している場合は、狭い方に合わせます。

拡張

2台のディスプレイを1台と考え、横もしくは縦方向に長く表示します。

セカンドスクリーンのみ

セカンダリディスプレイ（ディスプレイの認識画面で「2」と表記されるディスプレイ）のみに表示します。

ワンポイント

解像度の設定については、70ページをご参照ください。

回復ドライブ

回復パーティションのバックアップについて説明します。

- | | |
|----------------------|----|
| 1 ● 回復ドライブの作成..... | 95 |
| 2 ● 回復ドライブからの復元..... | 99 |

1

回復ドライブの作成

「回復ドライブ」の作成方法

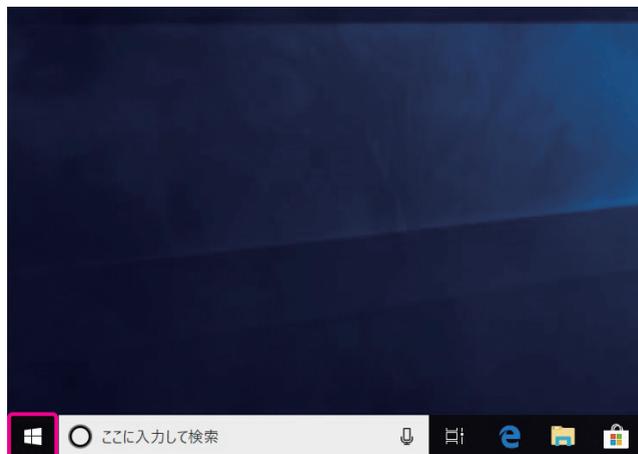
製品の起動トラブルに備え、回復ドライブをあらかじめ作成しておくことをお勧めいたします。回復ドライブの作成方法は、以下の通りです。

※注意※

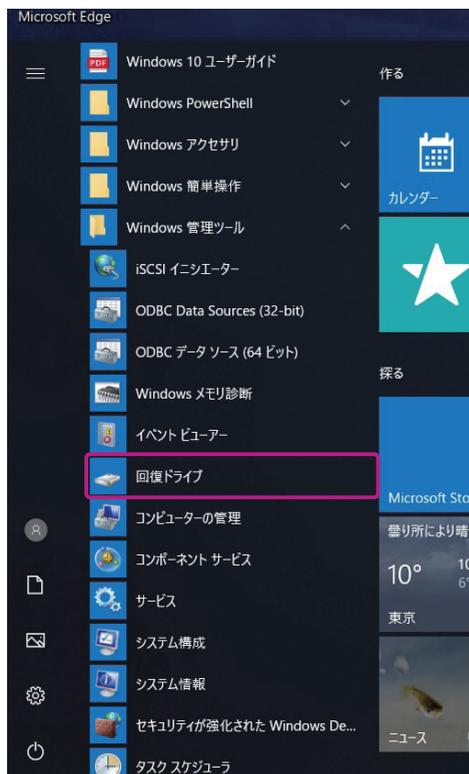
この作業を行うには USB フラッシュメモリなどの「外部記憶装置」が必要になります。外部記憶装置の中のデータは初期化されますのでご注意ください。

※回復ドライブの作成に必要な外部記憶装置の容量は、作成前のシステム状況によって異なります。詳しくは以下の説明をご参照ください。

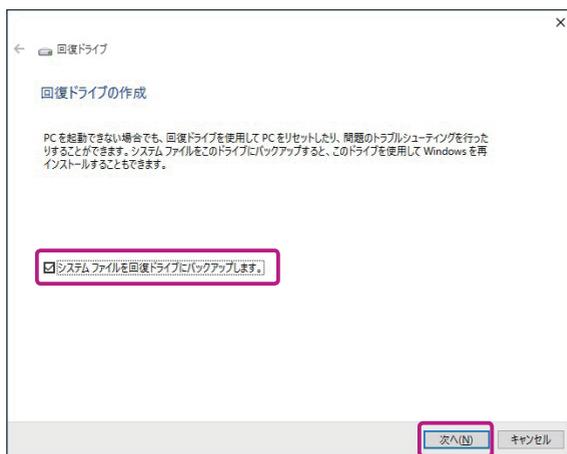
1. デスクトップ画面左下の「」をクリックします。



2. 「Windows 管理ツール」 から「回復ドライブ」 をクリックします。



3. 「システムファイルを回復ドライブにバックアップします。」を選択し、「次へ」をクリックします。

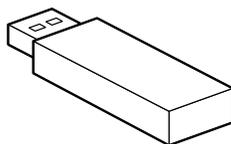


4. リカバリー領域のコピー先を選択し、「次へ」をクリックします。

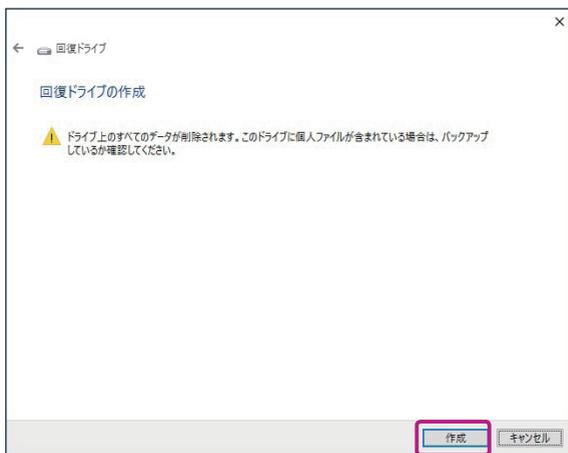


注意

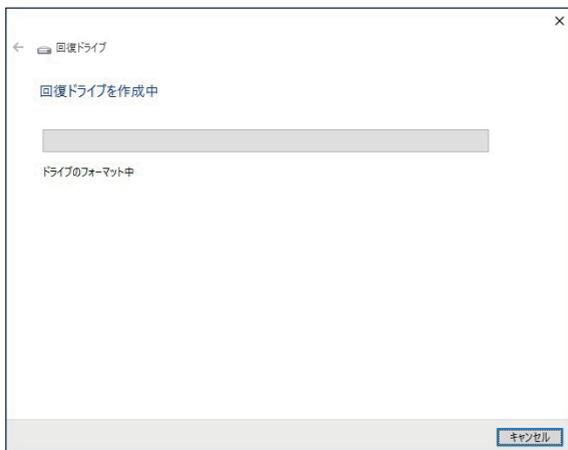
この画面に表示された容量以上の外部記憶装置をご用意ください。



5. 「作成」をクリックします。



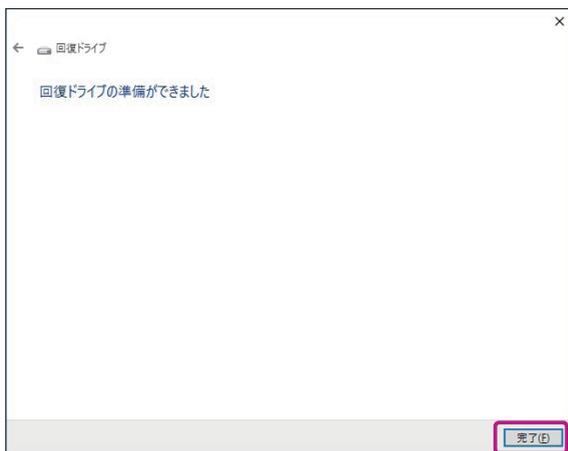
6. ドライブのフォーマット中です。そのままお待ちください。



7. リカバリ領域のコピー中です。そのままお待ちください。



8. 「完了」をクリックします。

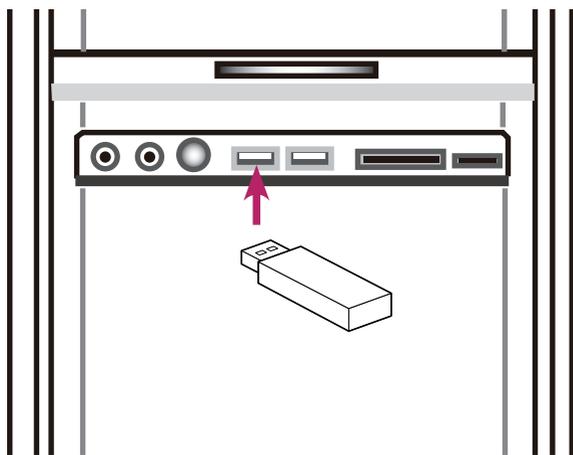


2

回復ドライブからの復元

回復ドライブの復元

1. 回復ドライブが内蔵されている USB フラッシュメモリなどの「外部記憶装置」をパソコンに接続し、パソコンの電源を入れます。



2. 「BIOS 設定」画面を表示して、USB フラッシュメモリなどの外部記憶装置から起動するように起動デバイスの優先順位設定を変更します。

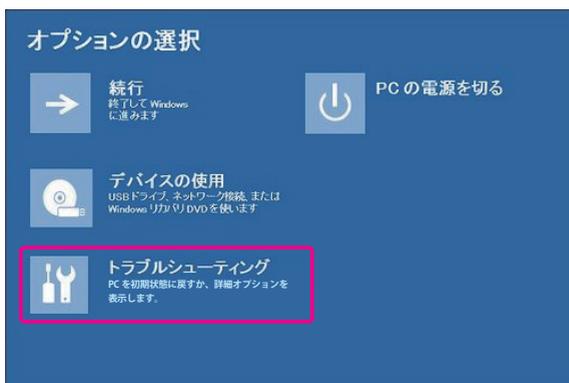
 注意

BIOS 設定画面の表示方法は、機種ごとに異なります。詳しくはスタートメニューにあるハードウェアマニュアルよりご確認ください。

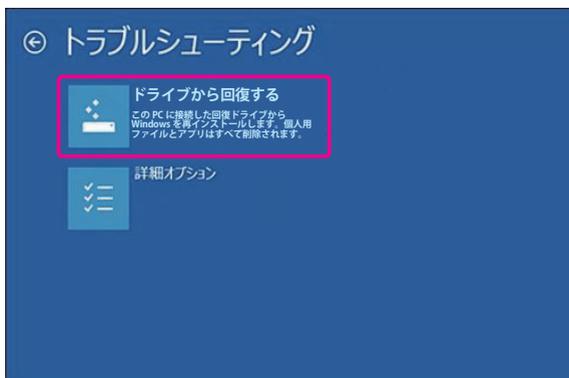
3. 「キーボードレイアウトの選択」画面が表示されたら、「Microsoft IME」をクリックします。



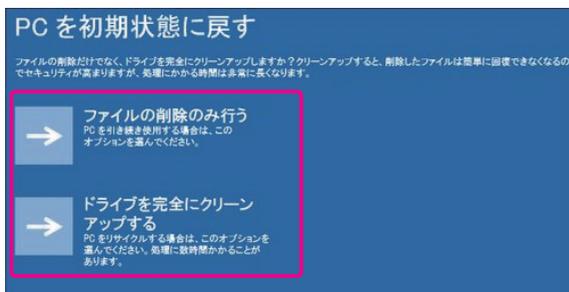
4. 「オプションの選択」画面が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリックします。



5. 「ドライブから回復する」をクリックします。



6. 「ファイルの削除のみ行う」※ または 「ドライブを完全にクリーンアップする」 ※を選択します。



※ ファイルの削除のみ行う

ファイルの削除のみを行うので、Windows の再インストールを短時間で終わることが出来ます。ご使用の環境にもよりますが、10～15分程度で再インストールが完了します。

※ ドライブを完全にクリーンアップする

ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップします。クリーンアップすることで、削除したファイルは簡単に回復できなくなるのでセキュリティは高まりますが、処理にかかる時間は非常に長くなります。ストレージの容量によって数時間かかる場合があります。

注意

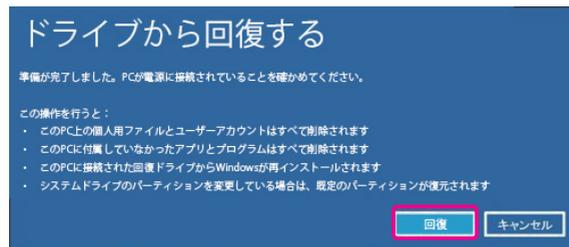
途中、黒地に白文字の英文が表示される場合があります。

[Press F12 to Clear the TPM]

[Press F12 or Volume Up to Clear the TPM]

再起動時に、上記のようなメッセージが表示される場合、「F12」キーを押して進んでください。

7. 「回復」をクリックします。



8. Windows の再インストールがスタートします。しばらくお待ちください。 再インストールが完了すると、PC が再起動されます。

※再インストール中に下図が表示された場合、「Microsoft IME」→「PC の電源を切る」の順にクリックしてパソコンの電源を落とします。パソコンの電源が切れたら、USB フラッシュメモリなどの「外部記憶装置」を取り外し、再度電源を入れてください。

キーボードレイアウトの選択

Microsoft IME

・アゼルバイジャン語 ラテン

9. Windows の初回設定画面が表示します。初回設定を行うと Windows が起動します。

ショートカットキー

Windows10 の操作で、覚えておくと便利な様々なショートカットキーをご紹介します。

1 ● ショートカット一覧	104
---------------------	-----

1

ショートカット一覧

Windows キー「」を押しながら、キーボードの他のキーを押したときに働くショートカットを説明します。なお、ここでご紹介するショートカットは、デスクトップの何も無いところを、マウスクリックした状態で機能するものとなります。

操作	機能
Windows のみ	スタートメニューの表示 / 非表示
Windows + 1～9	タスクバーにピン留めもしくは、起動中のアプリを表示します。ピン留めのみで起動していないアプリは起動を行います。タスクバー左端を「1」として右方向に対応する数字が変わります。なお、テンキーでは反応しません。
Windows + A	アクションセンターを表示します。
Windows + B	通知領域（タスクトレイ）をフォーカスします。
Windows + D	デスクトップを表示する。元のサイズに戻す場合はもう一度 Windows+D キーを押します。
Windows + E	エクスプローラーを起動します。
Windows + I	設定を開きます。
Windows + K	周囲にあるワイヤレス機器を探します。（対応機器のみ）
Windows + L	画面をロックします。
Windows + M	デスクトップ上に表示されているウィンドウをすべて最小化します。
Windows + Shift + M	Windows+M で最小化したウィンドウを元のサイズに戻します。
Windows + P	マルチディスプレイの設定を表示します。
Windows + R	「ファイル名を指定して実行」を表示します。
Windows + S	Web と Windows を検索します。
Windows + T	タスクバーに起動中のアプリのサムネイルを表示します。押すごとにアプリが切り替わります。
Windows + U	「簡単操作」の設定画面が表示されます。
Windows + X	アドバンスドメニューを表示します。
Windows + Tab	タスクビューを表示します。また新しいデスクトップの追加や他のデスクトップへの切替を行えます。
Windows + Pause	システムのプロパティを表示します。
Windows + F1	Windows ヘルプサイトを検索します。

その他、よく使われるショートカットをご紹介します。

操作	機能
Ctrl + A	アクティブウィンドウ内のアイテムをすべて選択します。
Ctrl + B	選択した範囲のテキストを太文字にします。
Ctrl + C	選択した範囲のテキストやアイコンをコピーします。
Ctrl + F	アプリ内の検索を行います。
Ctrl + I	選択した範囲のテキストを斜体にします。
Ctrl + U	選択した範囲のテキストの下に線を引きます。
Ctrl + V	CTRL+C もしくは、メニューからコピー操作したアイテムを貼り付けます。
Ctrl + X	選択した範囲のテキストやアイコンを切り取ります。
Ctrl + Z	行った操作をひとつ前の状態に戻します。
Ctrl + ESC	スタートメニューの表示 / 非表示
Ctrl + Shift + ESC	タスクマネージャーを開きます。
Alt + F4	アプリを終了します。
Alt + Tab	別の実行中のアプリに切り替えます。
Alt + Space	アクティブウィンドウのシステムメニューを表示します。
Shift + F10	メニューバーオプションを開きます。
Shift + Delete (Del)	ごみ箱を通さずに、完全に削除します。

ここでご紹介したショートカットは、ほんの一部です。

また、同じ操作でも使用しているアプリによっては、異なる効果が発生する場合がありますので、用途に合わせたショートカットをご利用ください。